

第2章 高齢者の状況及びこれまでの取組

1 人口及び高齢者数等の推移

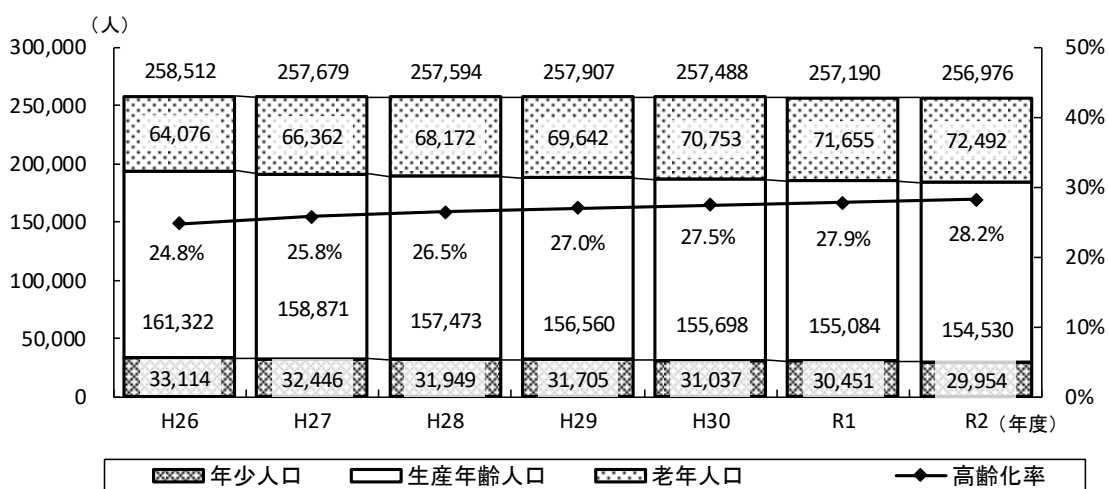
- 令和2年（2020年）10月1日現在、本市の総人口は256,976人です。そのうち、65歳以上の高齢者は72,492人であり、高齢化率は28.2%です。
- 前期高齢者（65歳～74歳）は平成29年度から減少しています。一方、後期高齢者（75歳以上）は平成26年度から一貫して増加、6年間で約1.3倍に増加しています。
- 高齢化率は平成26年度から令和2年度までの間で、3.4ポイント増加しました。特に後期高齢者の割合が、大きく伸びてきています。

図表 2-1 人口及び高齢者数の推移

	平成26年度	第6期計画期間				第7期計画期間		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
総人口	258,512	257,679	257,594	257,907	257,488	257,190	256,976	
高齢者(65歳以上)	64,076	66,362	68,172	69,642	70,753	71,655	72,492	
後期高齢者(75歳以上)	27,810	29,166	30,794	32,453	34,100	35,717	36,611	
前期高齢者(65～74歳)	36,266	37,196	37,378	37,189	36,653	35,938	35,881	
40～64歳	89,687	89,115	88,900	89,060	89,233	89,492	89,822	
40歳未満	104,749	102,202	100,522	99,205	97,502	96,043	94,662	
高齢化率(65歳以上)	24.8%	25.8%	26.5%	27.0%	27.5%	27.9%	28.2%	
後期高齢者(75歳以上)	10.8%	11.3%	12.0%	12.6%	13.2%	13.9%	14.2%	
前期高齢者(65～74歳)	14.0%	14.4%	14.5%	14.4%	14.2%	14.0%	14.0%	
第1号被保険者	63,910	66,165	67,978	69,445	70,485	71,375	72,225	

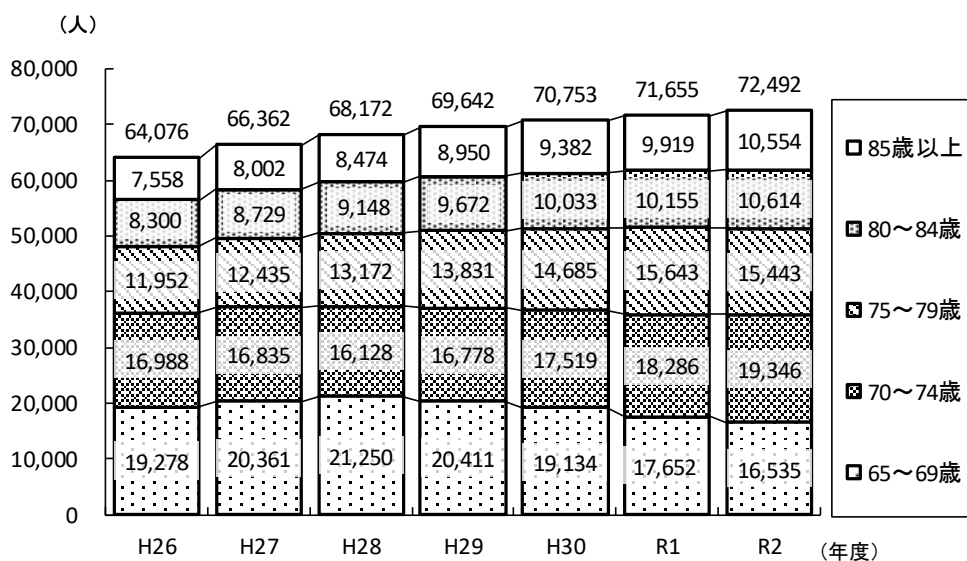
- ※ 住民基本台帳(各年度10月1日現在、日本人、外国人を含む。)
- ※ 第1号被保険者数(各年度9月末日現在、介護保険事業状況報告)
- ※ 第1号被保険者とは、本市に住民登録をしている者及び本市から他市町村にある住所地特例施設に住民登録を移した者で、本市が介護保険の保険者となっている者。介護保険給付費及び地域支援事業費等を見込む際の基礎となる。

図表 2-2 人口及び高齢化率の推移



- ※ 住民基本台帳(各年度10月1日現在、日本人、外国人を含む。)

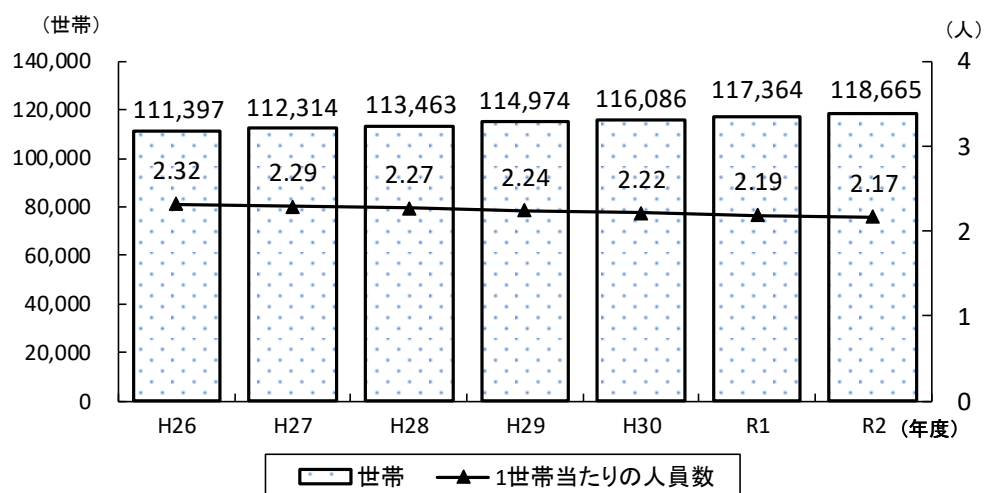
図表 2-3 平塚市の高齢者人口



※ 住民基本台帳(各年度 10月1日現在、日本人、外国人を含む。)

- 令和2年(2020年)10月1日現在、本市の総世帯数は118,665世帯であり、平成26年度以降一貫して増加しています。一方、1世帯当たり人員数は一貫して減少傾向にあり、2.17人となっています。

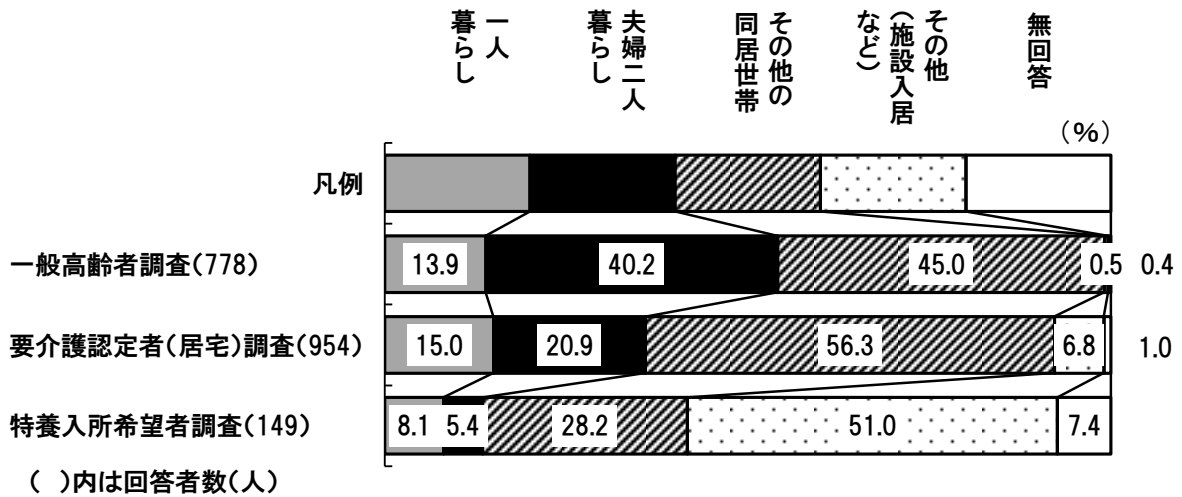
図表 2-4 世帯数及び1世帯当たり人員数



※ 住民基本台帳(各年度 10月1日現在、日本人、外国人を含む。)

- 家族構成について、高齢者等実態調査（P.7 参照）では「夫婦二人暮らし」は一般高齢者調査で最も多く、要介護認定者（居宅）調査では割合が減少しています。「一人暮らし」、「その他の同居世帯」は要介護認定者（居宅）調査が最も多くなっています。

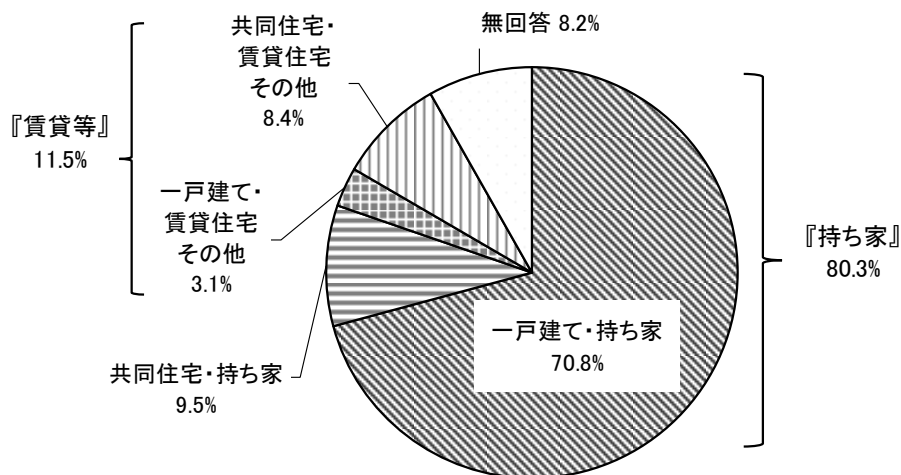
図表 2-5 家族構成



出典：高齢者等実態調査

- 居住形態と所有の形態をみると、高齢者等実態調査（P.7 参照）では一戸建て・持ち家の割合が高くなっています。

図表 2-6 居住形態と所有の形態（一般高齢者調査、778 人）



出典：高齢者等実態調査

2 在宅医療等の状況

- 市内には病院が9か所、診療所が188か所、歯科診療所が138か所あり、病床数は病院が2,391床あります。
- 人口10万人当たりの病床数を全国、神奈川県と比較すると、本市は全国より約371床少なく、神奈川県より約89床多くなっています。
- 在宅医療の提供が期待される在宅療養支援診療所は、市内に31か所あります。
- 在宅医療・介護連携支援センターは、市内に1か所あります。

図表 2-7 市内の医療機関数

病院	診療所	歯科診療所
9か所	188か所	138か所

出典:「平成30年度平塚保健福祉事務所年報」

図表 2-8 病床数の比較（人口10万人対）

	病院	診療所	病院・診療所合計
全国	1,223.1床	75.0床	1,298.1床
神奈川県	811.4床	26.0床	837.4床
平塚市	893.8床	32.9床	926.7床

出典:「平成30年(2018)医療施設(動態)調査・病院報告」(厚生労働省)、「平成30年度平塚保健福祉事務所年報」
 ※ 平塚市は病床数と国勢調査人口より本市で計算したもの。端数処理の都合上、明細と合計が一致しないものがある。

図表 2-9 市内の在宅療養支援診療所数

在宅療養支援診療所
31か所

出典:「神奈川県内の施設基準の届出受理状況(全体)」、令和元年8月1日現在(関東信越厚生局)

※ 在宅療養支援診療所とは、在宅療養をされる方のために、その地域で主たる責任をもって診療にあたる診療所のことです。自宅で療養する方が医療サービスを受けるに当たり、医師や病院を探したり様々な事業者と連絡を取り合ったりしなくてすむように、かかりつけ医として一元的に療養管理する責任を負うのが在宅療養支援診療所の役割です。(日本訪問診療機構)

図表 2-10 市内の薬事施設数

薬局	医薬品販売業
121か所	62か所

出典:「平成30年度平塚保健福祉事務所年報」

図表 2-11 市内の在宅医療・介護連携支援センター数

在宅医療・介護連携支援センター
1か所

※ 在宅医療・介護連携支援センターとは、高齢者が医療及び介護の両方を必要とする状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を営むことができるよう、医療・介護・地域包括支援センター等における多職種連携及び市民への普及啓発を推進する機関です。

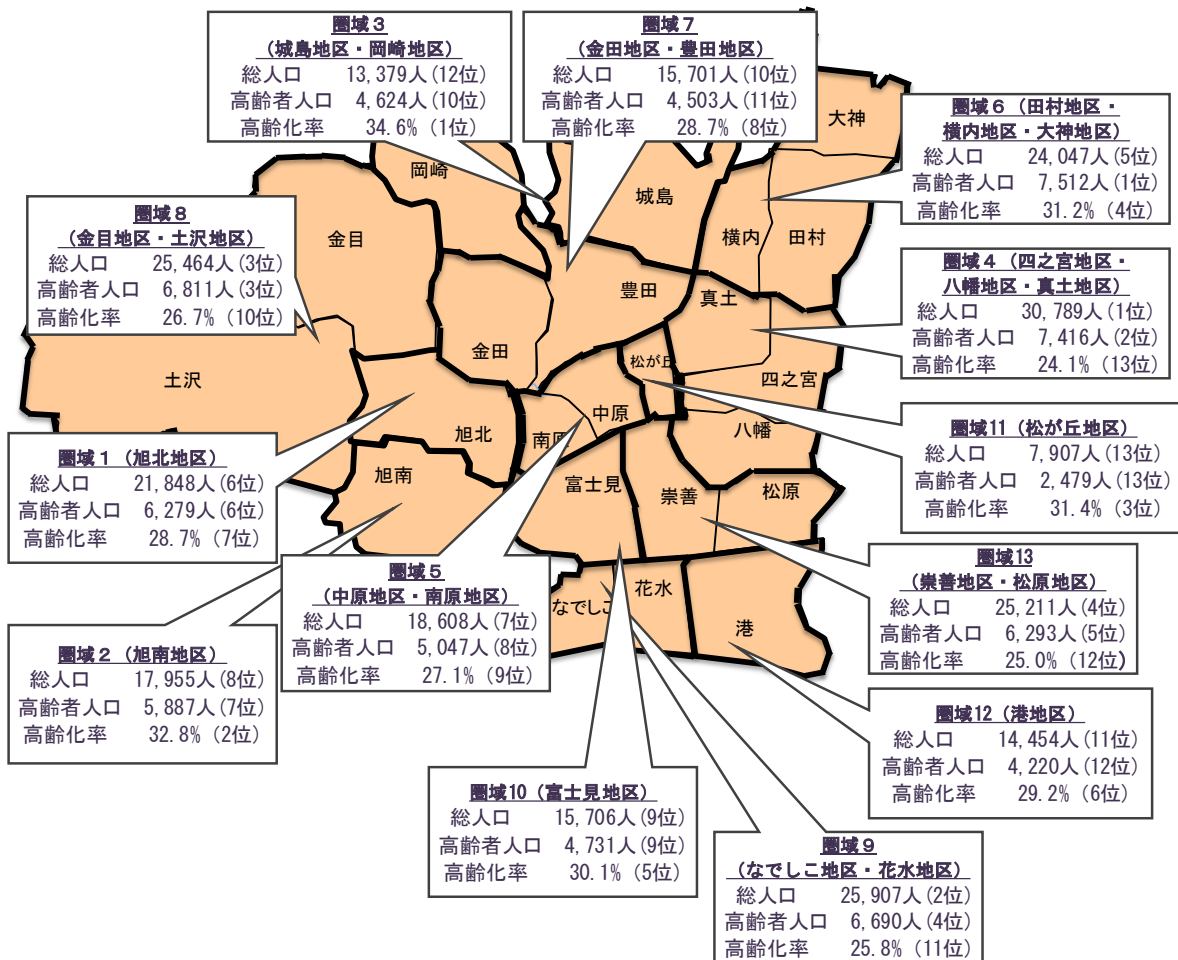
3 日常生活圏域別の高齢者及び社会資源の状況

日常生活圏域とは、介護が必要になった状態になっても、住み慣れた地域の中で継続して生活できるよう、相談やサービスの利用が地域内で完結することを目指した圏域であり、高齢者が日常生活活動を営む地域を考慮して設定するものです。

本市では、地域密着型サービスを中心とした介護サービスの提供単位として、下記の13圏域を設定しています。

なお、圏域ごとに地域包括支援センターを設置しており、本市では、高齢者よろず相談センターと呼んでいます（以下、「高齢者よろず相談センター」といいます。）

図表 2-12 日常生活圏域の設定



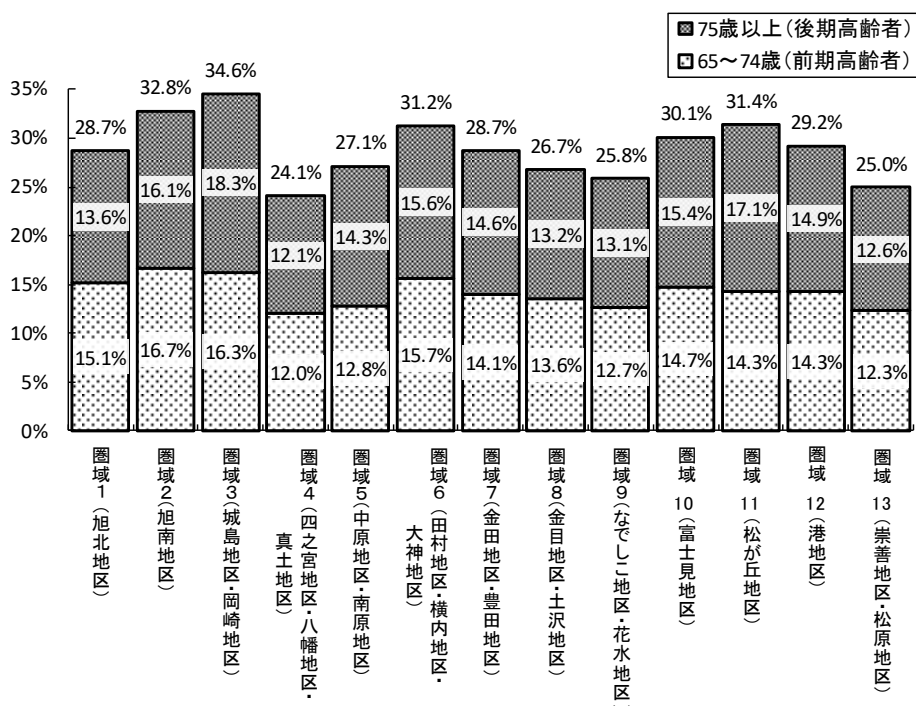
第2章 高齢者の状況及びこれまでの取組

- 65歳以上の高齢者の高齢化率を13の日常生活圏域別で見ると、圏域2（旭南地区）、圏域3（城島地区・岡崎地区）、圏域6（田村地区・横内地区・大神地区）、圏域10（富士見地区）、圏域11（松が丘地区）の5圏域は30%以上と高くなっています。また、これらの圏域では75歳以上の後期高齢者の高齢化率も同様に高く、15%以上となっています。

図表 2-13 日常生活圏域別人口及び高齢化率

圏域	圏域人口	高齢者数			40～64歳	高齢化率			
		65歳以上	65～74歳	75歳以上		65歳以上	65～74歳	75歳以上	
圏域1	旭北地区	21,848	6,279	3,309	2,970	7,457	28.7%	15.1%	13.6%
圏域2	旭南地区	17,955	5,887	2,993	2,894	5,917	32.8%	16.7%	16.1%
圏域3	城島地区・岡崎地区	13,379	4,624	2,179	2,445	4,450	34.6%	16.3%	18.3%
圏域4	四之宮地区・八幡地区・真土地区	30,789	7,416	3,693	3,723	10,511	24.1%	12.0%	12.1%
圏域5	中原地区・南原地区	18,608	5,047	2,382	2,665	6,779	27.1%	12.8%	14.3%
圏域6	田村地区・横内地区・大神地区	24,047	7,512	3,765	3,747	8,319	31.2%	15.7%	15.6%
圏域7	金田地区・豊田地区	15,701	4,503	2,207	2,296	5,377	28.7%	14.1%	14.6%
圏域8	金目地区・土沢地区	25,464	6,811	3,462	3,349	8,405	26.7%	13.6%	13.2%
圏域9	なでしこ地区・花水地区	25,907	6,690	3,292	3,398	9,645	25.8%	12.7%	13.1%
圏域10	富士見地区	15,706	4,731	2,305	2,426	5,355	30.1%	14.7%	15.4%
圏域11	松が丘地区	7,907	2,479	1,129	1,350	2,758	31.4%	14.3%	17.1%
圏域12	港地区	14,454	4,220	2,060	2,160	5,264	29.2%	14.3%	14.9%
圏域13	崇善地区・松原地区	25,211	6,293	3,105	3,188	9,585	25.0%	12.3%	12.6%
	合計	256,976	72,492	35,881	36,611	89,822	28.2%	14.0%	14.2%

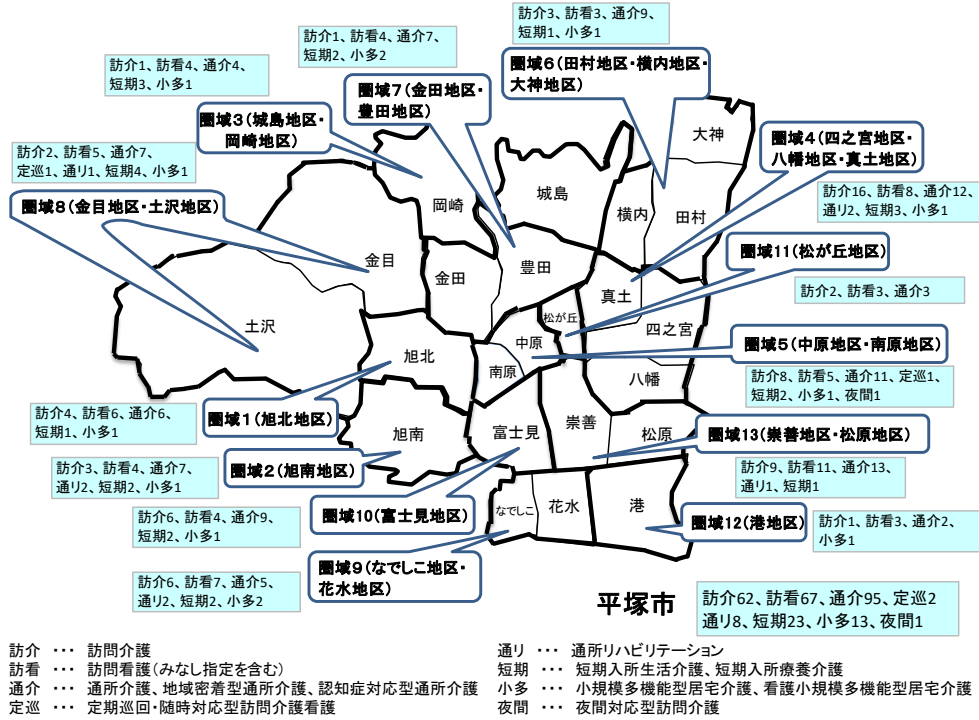
図表 2-14 日常生活圏域別高齢化率（前期・後期高齢者別）



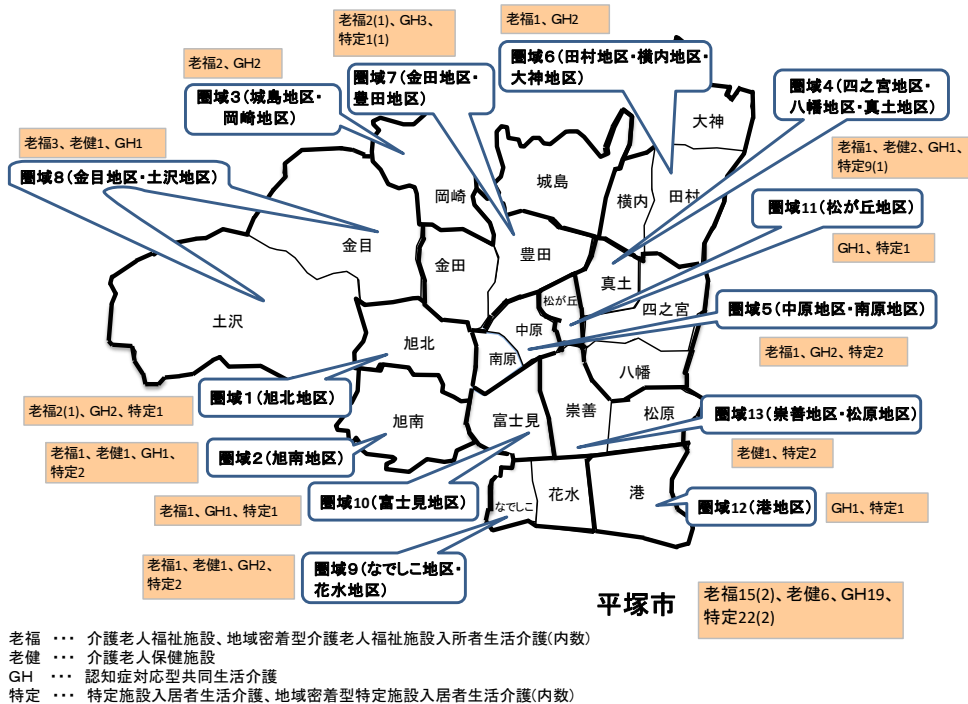
※ 住民基本台帳(令和2年10月1日現在、日本人、外国人を含む。)

- 介護保険サービスの供給体制について、主な居宅サービス、施設・居住系サービスを日常生活圏域別にとりまとめました。

図表 2-15 主な居宅サービスの事業所の分布（日常生活圏域別）



図表 2-16 施設・居住系サービスの事業所の分布（日常生活圏域別）



出典：平塚市介護保険課調べ、令和2年9月1日現在

圏域1（旭北地区）

地区のデータ

<高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在）
 人口 21,848人
 （男性10,898人、女性10,950人）
 高齢者数 6,279人（うち75歳以上2,970人）
 高齢化率 28.7%
 ※住民基本台帳に基づく。

<要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在）
 要介護認定者数 870人

<医療関係>
 ①在宅療養支援病院・診療所 2カ所
 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 4カ所
 ③在宅医療受入可能薬局 1カ所
 ④訪問看護ステーション 2カ所
 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』
 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』
 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』
 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』

<施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在）
 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 2施設
 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 1施設
 介護老人保健施設 0施設
 介護付き有料老人ホーム 1施設
 住宅型有料老人ホーム 0施設
 サービス付き高齢者向け住宅 0施設
 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設
 夜間対応型訪問介護 0施設
 認知症対応型通所介護 0施設
 地域密着型通所介護 3施設
 小規模多機能型居宅介護 1施設
 看護小規模多機能型居宅介護 0施設
 認知症対応型共同生活介護 2施設

<地域拠点等>（2020年10月1日現在）
 <高齢者よろず相談センター>
 「名称」あさひきた
 町内福祉村 1カ所
 登録ボランティア数 62人

【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域1（旭北地区）	395	29.6	35.4	28.4	3.0	27.1	42.8	41.3	19.2

【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で手助けをしたい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域1（旭北地区）	82	48.8	34.1	22.0	18.3	63.4	50.0	11.0

圏域1（旭北地区）では、特に「運動器の機能低下」、「閉じこもり傾向」が市全体より高くなっています。また、「将来は自宅での介護を希望」が市全体と比べて5ポイント以上高くなっています。

小地域ケア会議の取組

地域とのつながりが薄い方や他者との関わりを望まない方に対して、何らかの支援が必要と判断した方に対する見守りや支援について、民生委員、福祉村、地区社協等地域の団体で協力して対応を検討しています。

例えば8050問題のような複雑かつ複合的な問題のある世帯もあり、どこまで把握できるか、どの程度の見守りや支援が必要かの見極めが難しいことが課題となっています。

圏域2（旭南地区）

地区のデータ	<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 17,955人 （男性8,766人、女性9,189人） 高齢者数 5,887人（うち75歳以上2,894人） 高齢化率 32.8% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 847人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 2カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 1カ所 ③在宅医療受入可能薬局 2カ所 ④訪問看護ステーション 2カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 1施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 1施設 介護付き有料老人ホーム 1施設 住宅型有料老人ホーム 6施設 サービス付き高齢者向け住宅 2施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 0施設 地域密着型通所介護 5施設 小規模多機能型居宅介護 1施設 看護小規模多機能型居宅介護 0施設 認知症対応型共同生活介護 1施設</p> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」あさひみなみ 町内福祉村 1カ所 登録ボランティア数 91人</p>																														
地区の状況	<p>【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>運動器の機能低下</th> <th>転倒リスク</th> <th>閉じこもり傾向</th> <th>低栄養状態</th> <th>口腔機能の低下</th> <th>認知機能の低下</th> <th>うつ傾向</th> <th>左記のリスクなし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>5007</td> <td>23.3</td> <td>32.9</td> <td>22.4</td> <td>2.6</td> <td>26.7</td> <td>42.3</td> <td>41.4</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>圏域2（旭南地区）</td> <td>383</td> <td>29.5</td> <td>39.2</td> <td>19.8</td> <td>1.6</td> <td>31.9</td> <td>45.4</td> <td>42.3</td> <td>14.9</td> </tr> </tbody> </table>			n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし	市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7	圏域2（旭南地区）	383	29.5	39.2	19.8	1.6	31.9	45.4	42.3	14.9
	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし																							
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7																							
圏域2（旭南地区）	383	29.5	39.2	19.8	1.6	31.9	45.4	42.3	14.9																							
	<p>【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>介護予防に取り組んでいる</th> <th>地域で助けをほしい</th> <th>地域活動への参加意向あり</th> <th>高齢者よろず相談センターの認知</th> <th>外出は週に3日以上</th> <th>将来は自宅での介護を希望</th> <th>一人暮らし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>778</td> <td>53.1</td> <td>37.7</td> <td>27.2</td> <td>22.0</td> <td>68.4</td> <td>41.3</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>圏域2（旭南地区）</td> <td>62</td> <td>53.2</td> <td>40.3</td> <td>40.3</td> <td>30.6</td> <td>72.6</td> <td>35.5</td> <td>17.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>圏域2（旭南地区）では、特に「運動器の機能低下」、「転倒リスク」、「口腔機能の低下」が市全体より高くなっています。また、特に「地域活動への参加意向あり」が市全体より高くなっています。</p>			n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし	市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9	圏域2（旭南地区）	62	53.2	40.3	40.3	30.6	72.6	35.5	17.7			
	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし																								
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9																								
圏域2（旭南地区）	62	53.2	40.3	40.3	30.6	72.6	35.5	17.7																								
小地域ケア会議の取組	<p>バス路線から離れている地域に住む住民の買い物や通院に対して、交通手段の確保ができないという課題があり、有償・無償の福祉的な運送に関して違いやルールを研究し、検討をしています。</p> <p>コミュニティバス等の地域の福祉運送の必要性について、地域住民の意向の確認が課題となっています。</p>																															

圏域3（城島地区・岡崎地区）

地区のデータ	<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 13,379人 （男性6,716人、女性6,663人） 高齢者数 4,624人（うち75歳以上2,445人） 高齢化率 34.6% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 662人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 0カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 1カ所 ③在宅医療受入可能薬局 2カ所 ④訪問看護ステーション 2カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 2施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 0施設 介護付き有料老人ホーム 0施設 住宅型有料老人ホーム 0施設 サービス付き高齢者向け住宅 0施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 0施設 地域密着型通所介護 2施設 小規模多機能型居宅介護 0施設 看護小規模多機能型居宅介護 1施設 認知症対応型共同生活介護 2施設</p> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」おおすみ 町内福祉村 2カ所 登録ボランティア数 241人</p>																													
	<p>【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>運動器の機能低下</th> <th>転倒リスク</th> <th>閉じこもり傾向</th> <th>低栄養状態</th> <th>口腔機能の低下</th> <th>認知機能の低下</th> <th>うつ傾向</th> <th>左記のリスクなし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>5007</td> <td>23.3</td> <td>32.9</td> <td>22.4</td> <td>2.6</td> <td>26.7</td> <td>42.3</td> <td>41.4</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>圏域3 (城島地区・岡崎地区)</td> <td>382</td> <td>17.8</td> <td>31.9</td> <td>22.3</td> <td>1.8</td> <td>24.3</td> <td>40.3</td> <td>42.1</td> <td>21.2</td> </tr> </tbody> </table>			n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし	市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7	圏域3 (城島地区・岡崎地区)	382	17.8	31.9	22.3	1.8	24.3	40.3	42.1
	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし																						
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7																						
圏域3 (城島地区・岡崎地区)	382	17.8	31.9	22.3	1.8	24.3	40.3	42.1	21.2																						
地区の状況	<p>【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>介護予防に取り組んでいる</th> <th>地域で助けをほしい</th> <th>地域活動への参加意向あり</th> <th>高齢者よろず相談センターの認知</th> <th>外出は週に3日以上</th> <th>将来は自宅での介護を希望</th> <th>一人暮らし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>778</td> <td>53.1</td> <td>37.7</td> <td>27.2</td> <td>22.0</td> <td>68.4</td> <td>41.3</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>圏域3 (城島地区・岡崎地区)</td> <td>58</td> <td>67.2</td> <td>48.3</td> <td>34.5</td> <td>29.3</td> <td>69.0</td> <td>39.7</td> <td>8.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>圏域3（城島地区・岡崎地区）では、特に「運動器の機能低下」が市全体より低くなっています。また、特に「介護予防に取り組んでいる」が市全体より高くなっています。</p>			n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし	市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9	圏域3 (城島地区・岡崎地区)	58	67.2	48.3	34.5	29.3	69.0	39.7	8.6		
		n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし																						
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9																							
圏域3 (城島地区・岡崎地区)	58	67.2	48.3	34.5	29.3	69.0	39.7	8.6																							
小地域ケア会議の取組	<p>交通弱者、買い物難民等、支援を必要とする高齢者の増加と対応策について検討をしています。地域の行事に関連する交通弱者への支援として、地域の福祉施設に協力を依頼しています。</p> <p>免許を返納した後、交通手段がなく、閉じこもりに移行しやすい高齢者の移動支援について課題があります。</p>																														

圏域4（四之宮地区・八幡地区・真土地区）

地区のデータ

<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 30,789人 （男性16,038人、女性14,751人） 高齢者数 7,416人（うち75歳以上3,723人） 高齢化率 24.1% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 1,231人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 2カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 2カ所 ③在宅医療受入可能薬局 1カ所 ④訪問看護ステーション 3カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在）</p> <table border="1"> <tr><td>介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>うち、地域密着型特別養護老人ホーム</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>介護老人保健施設</td><td>2施設</td></tr> <tr><td>介護付き有料老人ホーム</td><td>7施設</td></tr> <tr><td>住宅型有料老人ホーム</td><td>8施設</td></tr> <tr><td>サービス付き高齢者向け住宅</td><td>4施設</td></tr> <tr><td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>夜間対応型訪問介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>認知症対応型通所介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>地域密着型通所介護</td><td>6施設</td></tr> <tr><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>看護小規模多機能型居宅介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>認知症対応型共同生活介護</td><td>1施設</td></tr> </table> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」倉田会 町内福祉村 2カ所 登録ボランティア数 191人</p>	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1施設	うち、地域密着型特別養護老人ホーム	0施設	介護老人保健施設	2施設	介護付き有料老人ホーム	7施設	住宅型有料老人ホーム	8施設	サービス付き高齢者向け住宅	4施設	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0施設	夜間対応型訪問介護	0施設	認知症対応型通所介護	0施設	地域密着型通所介護	6施設	小規模多機能型居宅介護	1施設	看護小規模多機能型居宅介護	0施設	認知症対応型共同生活介護	1施設
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1施設																										
うち、地域密着型特別養護老人ホーム	0施設																										
介護老人保健施設	2施設																										
介護付き有料老人ホーム	7施設																										
住宅型有料老人ホーム	8施設																										
サービス付き高齢者向け住宅	4施設																										
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0施設																										
夜間対応型訪問介護	0施設																										
認知症対応型通所介護	0施設																										
地域密着型通所介護	6施設																										
小規模多機能型居宅介護	1施設																										
看護小規模多機能型居宅介護	0施設																										
認知症対応型共同生活介護	1施設																										

地区の状況

【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域4（四之宮地区・八幡地区・真土地区）	361	22.4	29.1	21.9	3.6	26.9	41.0	37.1	21.9

【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域4（四之宮地区・八幡地区・真土地区）	71	47.9	35.2	28.2	12.7	59.2	45.1	11.3

圏域4（四之宮地区・八幡地区・真土地区）では、リスク状況においては、市全体と比べて特に差のある項目はありません。一方、特に「高齢者よろず相談センターの認知」が市全体と比べて低くなっています。

小地域ケア会議の取組

地域の各団体に対して認知症をテーマに普及啓発に取り組み、認知症への理解の促進と地域包括支援センターとの連携強化が図られています。家族関係や地域関係が孤立している高齢者のみならず、生活や事務手続き全般に関する支援の必要性があります。また、地域の団体役員も数年で交代してしまうため、関係性の再構築が課題です。

圏域5（中原地区・南原地区）

地区のデータ	<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 18,608人 （男性9,218人、女性9,390人） 高齢者数 5,047人（うち75歳以上2,665人） 高齢化率 27.1% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 884人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 10カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 2カ所 ③在宅医療受入可能薬局 6カ所 ④訪問看護ステーション 3カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 1施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 0施設 介護付き有料老人ホーム 1施設 住宅型有料老人ホーム 1施設 サービス付き高齢者向け住宅 0施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1施設 夜間対応型訪問介護 1施設 認知症対応型通所介護 1施設 地域密着型通所介護 7施設 小規模多機能型居宅介護 1施設 看護小規模多機能型居宅介護 0施設 認知症対応型共同生活介護 2施設</p> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」こてん 町内福祉村 0カ所 登録ボランティア数 0人</p>																													
	<p>【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>運動器の機能低下</th> <th>転倒リスク</th> <th>閉じこもり傾向</th> <th>低栄養状態</th> <th>口腔機能の低下</th> <th>認知機能の低下</th> <th>うつ傾向</th> <th>左記のリスクなし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>5007</td> <td>23.3</td> <td>32.9</td> <td>22.4</td> <td>2.6</td> <td>26.7</td> <td>42.3</td> <td>41.4</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>圏域5 （中原地区・南原地区）</td> <td>397</td> <td>22.7</td> <td>37.3</td> <td>20.7</td> <td>2.8</td> <td>24.7</td> <td>42.6</td> <td>44.1</td> <td>17.1</td> </tr> </tbody> </table>			n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし	市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7	圏域5 （中原地区・南原地区）	397	22.7	37.3	20.7	2.8	24.7	42.6	44.1
	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし																						
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7																						
圏域5 （中原地区・南原地区）	397	22.7	37.3	20.7	2.8	24.7	42.6	44.1	17.1																						
地区の状況	<p>【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>介護予防に取り組んでいる</th> <th>地域で助けをほしい</th> <th>地域活動への参加意向あり</th> <th>高齢者よろず相談センターの認知</th> <th>外出は週に3日以上</th> <th>将来は自宅での介護を希望</th> <th>一人暮らし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>778</td> <td>53.1</td> <td>37.7</td> <td>27.2</td> <td>22.0</td> <td>68.4</td> <td>41.3</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>圏域5 （中原地区・南原地区）</td> <td>58</td> <td>32.8</td> <td>32.8</td> <td>22.4</td> <td>19.0</td> <td>63.8</td> <td>39.7</td> <td>15.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>圏域5（中原地区・南原地区）では、特に「転倒リスク」が市全体と比べて高くなっています。また、「介護予防に取り組んでいる」が市全体より20ポイント以上低くなっています。</p>			n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし	市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9	圏域5 （中原地区・南原地区）	58	32.8	32.8	22.4	19.0	63.8	39.7	15.5		
		n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし																						
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9																							
圏域5 （中原地区・南原地区）	58	32.8	32.8	22.4	19.0	63.8	39.7	15.5																							
小地域ケア会議の取組	<p>独居高齢者の閉じこもりや認知症高齢者等に関する問題などに対して、民生委員や近隣住民の理解と協力を呼びかけています。地域の事業所や様々な関係機関により地域の課題や情報交換、情報提供の場として交流会を開催していますが、災害時を含め、地域団体や関係者の役割や取組が明確でないところもあり、お互いの課題の共有が必要です。</p>																														

圏域6（田村地区・横内地区・大神地区）

地区のデータ

<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 24,047人 （男性12,145人、女性11,902人） 高齢者数 7,512人（うち75歳以上3,747人） 高齢化率 31.2% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 1,103人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 0カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 3カ所 ③在宅医療受入可能薬局 2カ所 ④訪問看護ステーション 0カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 1施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 0施設 介護付き有料老人ホーム 0施設 住宅型有料老人ホーム 1施設 サービス付き高齢者向け住宅 2施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 0施設 地域密着型通所介護 5施設 小規模多機能型居宅介護 1施設 看護小規模多機能型居宅介護 0施設 認知症対応型共同生活介護 2施設</p> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」サンレジデンス湘南 町内福祉村 3カ所 登録ボランティア数 331人</p>
---	--

地区の状況

【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域6(田村地区・横内地区・大神地区)	374	28.9	35.8	24.6	2.9	32.6	41.7	46.8	13.6

【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域6(田村地区・横内地区・大神地区)	72	52.8	34.7	29.2	26.4	65.3	36.1	9.7

圏域6（田村地区・横内地区・大神地区）では、特に「運動器の機能低下」、「口腔機能の低下」、「うつ傾向」が市全体と比べて高くなっています。また、「将来は自宅での介護を希望」が市全体と比べて5ポイント以上低くなっています。

小地域ケア会議の取組

集合住宅における高齢化と認知症の方の相談が増えてきており、また、多国籍の住民が多く、言葉の問題に苦慮しています。認知症の方への地域での見守りや協力体制があり、地域の往診医の活動や町内福祉村等の関係機関との協力体制が構築されてきています。外出するための交通手段のない高齢者への支援が課題となっています。

圏域7（金田地区・豊田地区）

地区のデータ

<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 15,701人 （男性7,852人、女性7,849人） 高齢者数 4,503人（うち75歳以上2,296人） 高齢化率 28.7% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 685人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 0カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 2カ所 ③在宅医療受入可能薬局 1カ所 ④訪問看護ステーション 1カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 2施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 1施設 介護老人保健施設 0施設 介護付き有料老人ホーム 1施設 住宅型有料老人ホーム 0施設 サービス付き高齢者向け住宅 0施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 1施設 地域密着型通所介護 5施設 小規模多機能型居宅介護 1施設 看護小規模多機能型居宅介護 1施設 認知症対応型共同生活介護 3施設</p> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」とよだ 町内福祉村 2カ所 登録ボランティア数 181人</p>
---	--

地区の状況

【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域7 (金田地区・豊田地区)	397	23.4	35.0	21.7	1.8	25.2	44.1	37.5	19.9

【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域7 (金田地区・豊田地区)	46	52.2	39.1	28.3	21.7	60.9	43.5	19.6

圏域7（金田地区・豊田地区）では、リスク状況においては、市全体と比べて特に差のある項目はありません。一方、「外出は週に3日以上」が市全体と比べて5ポイント以上低く、「一人暮らし」は市全体と比べて5ポイント以上高くなっています。

小地域ケア会議の取組

地域において各種教室を実施し介護予防に取り組んでいますが、役員の高齢化に伴い、手続関係や会場の確保などの対応が困難となってきています。民生委員とケアマネジャー、民生委員と介護事業所との連携を図る体制が構築できていますが、認知症の独居高齢者に対する介護保険以外のサービスが不足している状況があり、地域で利用できるサービス等を有効に活用していくことが必要です。

圏域8（金目地区・土沢地区）

地区のデータ

<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 25,464人 （男性12,866人、女性12,598人） 高齢者数 6,811人（うち75歳以上3,349人） 高齢化率 26.7% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 1,011人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 0カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 2カ所 ③在宅医療受入可能薬局 3カ所 ④訪問看護ステーション 1カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 3施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 1施設 介護付き有料老人ホーム 0施設 住宅型有料老人ホーム 2施設 サービス付き高齢者向け住宅 0施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 0施設 地域密着型通所介護 5施設 小規模多機能型居宅介護 1施設 看護小規模多機能型居宅介護 0施設 認知症対応型共同生活介護 1施設</p> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」ひらつかにし 町内福祉村 1カ所 登録ボランティア数 95人</p>
---	--

地区の状況

【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域8（金目地区・土沢地区）	381	22.6	32.3	26.5	2.4	23.9	41.7	37.8	20.2

【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域8（金目地区・土沢地区）	73	50.7	38.4	24.7	12.3	60.3	53.4	9.6

圏域8（金目地区・土沢地区）では、「閉じこもり傾向」が市全体と比べて高くなっています。また、「高齢者よろず相談センターの認知」が市全体と比べて10ポイント近く低く、「将来は自宅での介護を希望」が市全体と比べて12ポイント以上高くなっています。

小地域ケア会議の取組

独居高齢者が身近に相談できる場所としてサロンにおいて地区社協の役員が相談を受け、必要に応じて関係機関へ連絡をする対応をとっています。また、日中独居の認知症高齢者が外出などで戻れなくなった時などの対応として家族の同意を得たうえで地区の老人クラブで情報共有し協力してもらっています。

圏域9（なでしこ地区・花水地区）

地区のデータ	<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 25,907人 （男性12,623人、女性13,284人） 高齢者数 6,690人（うち75歳以上3,398人） 高齢化率 25.8% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 1,225人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 1カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 6カ所 ③在宅医療受入可能薬局 3カ所 ④訪問看護ステーション 2カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 1施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 1施設 介護付き有料老人ホーム 2施設 住宅型有料老人ホーム 0施設 サービス付き高齢者向け住宅 0施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 0施設 地域密着型通所介護 3施設 小規模多機能型居宅介護 2施設 看護小規模多機能型居宅介護 0施設 認知症対応型共同生活介護 2施設</p> <p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」富士白苑 町内福祉村 2カ所 登録ボランティア数 158人</p>																														
地区の状況	<p>【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>運動器の機能低下</th> <th>転倒リスク</th> <th>閉じこもり傾向</th> <th>低栄養状態</th> <th>口腔機能の低下</th> <th>認知機能の低下</th> <th>うつ傾向</th> <th>左記のリスクなし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>5007</td> <td>23.3</td> <td>32.9</td> <td>22.4</td> <td>2.6</td> <td>26.7</td> <td>42.3</td> <td>41.4</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>圏域9（なでしこ地区・花水地区）</td> <td>385</td> <td>24.2</td> <td>31.4</td> <td>22.1</td> <td>2.1</td> <td>26.8</td> <td>46.0</td> <td>41.3</td> <td>20.0</td> </tr> </tbody> </table>			n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし	市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7	圏域9（なでしこ地区・花水地区）	385	24.2	31.4	22.1	2.1	26.8	46.0	41.3	20.0
	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし																							
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7																							
圏域9（なでしこ地区・花水地区）	385	24.2	31.4	22.1	2.1	26.8	46.0	41.3	20.0																							
	<p>【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）</p> <p style="text-align: right;">■ 市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>介護予防に取り組んでいる</th> <th>地域で助けをほしい</th> <th>地域活動への参加意向あり</th> <th>高齢者よろず相談センターの認知</th> <th>外出は週に3日以上</th> <th>将来は自宅での介護を希望</th> <th>一人暮らし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>778</td> <td>53.1</td> <td>37.7</td> <td>27.2</td> <td>22.0</td> <td>68.4</td> <td>41.3</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>圏域9（なでしこ地区・花水地区）</td> <td>66</td> <td>63.6</td> <td>43.9</td> <td>28.8</td> <td>30.3</td> <td>80.3</td> <td>39.4</td> <td>16.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>圏域9（なでしこ地区・花水地区）では、リスク状況においては、市全体と比べて特に差のある項目はありません。一方、特に「介護予防に取り組んでいる」、「外出は週に3日以上」が市全体と比べて高くなっています。</p>			n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし	市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9	圏域9（なでしこ地区・花水地区）	66	63.6	43.9	28.8	30.3	80.3	39.4	16.7			
	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし																								
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9																								
圏域9（なでしこ地区・花水地区）	66	63.6	43.9	28.8	30.3	80.3	39.4	16.7																								
小地域ケア会議の取組	<p>高齢者のみの世帯や認知症の方、支援者がいない方などに対して見守りや地域包括支援センターとの連携、ゴミ出しや買い物等の生活支援などを行っています。関係団体間で地域の課題を共有し、地域住民だけでなく地域とケアマネジャーとの連携も重要となってきましたが、情報共有や連絡方法などに関して課題があります。</p>																															

圏域 10 (富士見地区)

地区のデータ	<p><高齢者の人口の状況> (2020年10月1日現在) 人口 15,706人 (男性7,739人、女性7,967人) 高齢者数 4,731人(うち75歳以上2,426人) 高齢化率 30.1% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況> (2020年9月末現在) 要介護認定者数 885人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 3カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 4カ所 ③在宅医療受入可能薬局 3カ所 ④訪問看護ステーション 2カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿(医科)』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス> (2020年9月1日現在) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 1施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 0施設 介護付き有料老人ホーム 1施設 住宅型有料老人ホーム 0施設 サービス付き高齢者向け住宅 1施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 0施設 地域密着型通所介護 6施設 小規模多機能型居宅介護 1施設 看護小規模多機能型居宅介護 0施設 認知症対応型共同生活介護 1施設</p> <p><地域拠点等> (2020年10月1日現在) <高齢者よろず相談センター> 「名称」ふじみ 町内福祉村 1カ所 登録ボランティア数 105人</p>																																																									
地区の状況	<p>【リスク状況(%)】(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より)</p> <p style="text-align: right;">市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>運動器の機能低下</th> <th>転倒リスク</th> <th>閉じこもり傾向</th> <th>低栄養状態</th> <th>口腔機能の低下</th> <th>認知機能の低下</th> <th>うつ傾向</th> <th>左記のリスクなし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>5007</td> <td>23.3</td> <td>32.9</td> <td>22.4</td> <td>2.6</td> <td>26.7</td> <td>42.3</td> <td>41.4</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>圏域10(富士見地区)</td> <td>392</td> <td>20.9</td> <td>28.3</td> <td>21.9</td> <td>3.3</td> <td>25.8</td> <td>38.8</td> <td>43.4</td> <td>21.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【活動状況や将来の希望等(%)】(一般高齢者調査より)</p> <p style="text-align: right;">市全体より高い項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>n=</th> <th>介護予防に取り組んでいる</th> <th>地域で手助けをしたい</th> <th>地域活動への参加意向あり</th> <th>高齢者よろず相談センターの認知</th> <th>外出は週に3日以上</th> <th>将来は自宅での介護を希望</th> <th>一人暮らし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市全体</td> <td>778</td> <td>53.1</td> <td>37.7</td> <td>27.2</td> <td>22.0</td> <td>68.4</td> <td>41.3</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>圏域10(富士見地区)</td> <td>45</td> <td>57.8</td> <td>28.9</td> <td>17.8</td> <td>24.4</td> <td>66.7</td> <td>28.9</td> <td>22.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>圏域10(富士見地区)では、特に「転倒リスク」が市全体と比べて低くなっています。また、「将来は自宅での介護を希望」が市全体と比べて10ポイント以上低く、「地域で手助けをしたい」、「地域活動への参加意向あり」も市全体と比べて5ポイント以上低くなっています。</p>			n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし	市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7	圏域10(富士見地区)	392	20.9	28.3	21.9	3.3	25.8	38.8	43.4	21.4		n=	介護予防に取り組んでいる	地域で手助けをしたい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし	市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9	圏域10(富士見地区)	45	57.8	28.9	17.8	24.4	66.7	28.9	22.2
	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし																																																		
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7																																																		
圏域10(富士見地区)	392	20.9	28.3	21.9	3.3	25.8	38.8	43.4	21.4																																																		
	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で手助けをしたい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし																																																			
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9																																																			
圏域10(富士見地区)	45	57.8	28.9	17.8	24.4	66.7	28.9	22.2																																																			
小地域ケア会議の取組	<p>戸建ての住宅が多い地区であり、住民間の関わりがある程度ある地域です。認知症の正しい理解を促進する必要があり、高齢者に対しても地区の老人クラブなどで認知症理解の取組を行っています。多くの課題を共有することはできていますが、災害時の避難に対する準備や理解が不十分である等の課題があります。</p>																																																										

圏域 11（松が丘地区）

地区のデータ	<p><高齢者の人口の状況>（2020年10月1日現在） 人口 7,907人 （男性3,881人、女性4,026人） 高齢者数 2,479人（うち75歳以上1,350人） 高齢化率 31.4% ※住民基本台帳に基づく。</p>	<p><施設・地域密着型サービス>（2020年9月1日現在） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 0施設 うち、地域密着型特別養護老人ホーム 0施設 介護老人保健施設 0施設 介護付き有料老人ホーム 1施設 住宅型有料老人ホーム 2施設 サービス付き高齢者向け住宅 0施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 0施設 夜間対応型訪問介護 0施設 認知症対応型通所介護 0施設 地域密着型通所介護 2施設 小規模多機能型居宅介護 0施設 看護小規模多機能型居宅介護 0施設 認知症対応型共同生活介護 1施設</p>
	<p><要介護・要支援の認定状況>（2020年9月末現在） 要介護認定者数 408人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 0カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 1カ所 ③在宅医療受入可能薬局 1カ所 ④訪問看護ステーション 2カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿（医科）』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><地域拠点等>（2020年10月1日現在） <高齢者よろず相談センター> 「名称」まつがおか 町内福祉村 1カ所 登録ボランティア数 141人</p>

【リスク状況（%）】（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より）

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域11(松が丘地区)	387	13.7	26.4	16.5	1.6	23.0	39.0	41.9	24.5

【活動状況や将来の希望等（%）】（一般高齢者調査より）

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域11(松が丘地区)	13	76.9	38.5	30.8	23.1	100.0	30.8	15.4

圏域 11（松が丘地区）では、特に「運動器の機能低下」、「転倒リスク」、「閉じこもり傾向」が市全体と比べて低くなっています。（※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、要支援1・2までの高齢者が対象。詳細はP.7参照）

※活動状況や将来の希望等については、地区別の回答数（n=13）が少ないため参考値。

小地域ケア会議の取組

近隣の住民同士の関わりが薄い世帯も散見されますが、地域の関係団体による情報共有や役割分担ができています。地域課題として認知症等について理解を促進していく必要があり、講座や講習会等の開催の機会を増やしていく事が課題となっています。

圏域 12 (港地区)

地区のデータ

<p><高齢者の人口の状況> (2020年10月1日現在) 人口 14,454人 (男性7,072人、女性7,382人) 高齢者数 4,220人(うち75歳以上2,160人) 高齢化率 29.2% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況> (2020年9月末現在) 要介護認定者数 717人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 0カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 2カ所 ③在宅医療受入可能薬局 2カ所 ④訪問看護ステーション 2カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿(医科)』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス> (2020年9月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><td>介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>うち、地域密着型特別養護老人ホーム</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>介護老人保健施設</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>介護付き有料老人ホーム</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>住宅型有料老人ホーム</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>サービス付き高齢者向け住宅</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>夜間対応型訪問介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>認知症対応型通所介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>地域密着型通所介護</td><td>2施設</td></tr> <tr><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>看護小規模多機能型居宅介護</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>認知症対応型共同生活介護</td><td>1施設</td></tr> </table> <p><地域拠点等> (2020年10月1日現在) <高齢者よろず相談センター> 「名称」みなど 町内福祉村 1カ所 登録ボランティア数 201人</p>	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0施設	うち、地域密着型特別養護老人ホーム	0施設	介護老人保健施設	0施設	介護付き有料老人ホーム	1施設	住宅型有料老人ホーム	0施設	サービス付き高齢者向け住宅	0施設	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0施設	夜間対応型訪問介護	0施設	認知症対応型通所介護	0施設	地域密着型通所介護	2施設	小規模多機能型居宅介護	0施設	看護小規模多機能型居宅介護	1施設	認知症対応型共同生活介護	1施設
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0施設																										
うち、地域密着型特別養護老人ホーム	0施設																										
介護老人保健施設	0施設																										
介護付き有料老人ホーム	1施設																										
住宅型有料老人ホーム	0施設																										
サービス付き高齢者向け住宅	0施設																										
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0施設																										
夜間対応型訪問介護	0施設																										
認知症対応型通所介護	0施設																										
地域密着型通所介護	2施設																										
小規模多機能型居宅介護	0施設																										
看護小規模多機能型居宅介護	1施設																										
認知症対応型共同生活介護	1施設																										

地区の状況

【リスク状況(%)】(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より)

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域12(港地区)	373	22.8	32.4	25.2	4.0	26.5	38.9	40.8	22.3

【活動状況や将来の希望等(%)】(一般高齢者調査より)

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で助けをほしい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域12(港地区)	46	65.2	47.8	28.3	34.8	82.6	41.3	19.6

圏域 12 (港地区) では、特に「低栄養状態」が市全体と比べて高くなっています。また、特に「高齢者よろず相談センターの認知」、「外出は週に3日以上」が市全体と比べて高くなっています。

小地域ケア会議の取組

地域の企業と連携して認知症の普及啓発に取り組んでいます。また、災害時の避難行動要支援者支援制度について住民への普及啓発を行っていますが、制度自体の認知度や支援希望者と援助者のマッチングなどに課題があります。

それぞれの団体の考えと共通した課題認識を共有できています。

圏域 13 (崇善地区・松原地区)

地区のデータ

<p><高齢者の人口の状況> (2020年10月1日現在) 人口 25,211人 (男性 12,506人、女性 12,705人) 高齢者数 6,293人 (うち75歳以上 3,188人) 高齢化率 25.0% ※住民基本台帳に基づく。</p> <p><要介護・要支援の認定状況> (2020年9月末現在) 要介護認定者数 989人</p> <p><医療関係> ①在宅療養支援病院・診療所 11カ所 ②要介護高齢者歯科診療所・在宅歯科診療対応医院 4カ所 ③在宅医療受入可能薬局 4カ所 ④訪問看護ステーション 4カ所 出典：①関東信越厚生局『届出受理医療機関名簿(医科)』 ②平塚歯科医師会『訪問歯科診療事業協力医一覧』 ③平塚中郡薬剤師会『在宅支援拠点薬局一覧』 ④関東信越厚生局『届出受理指定訪問看護事業所名簿』</p>	<p><施設・地域密着型サービス> (2020年9月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><td>介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>うち、地域密着型特別養護老人ホーム</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>介護老人保健施設</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>介護付き有料老人ホーム</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>住宅型有料老人ホーム</td><td>3施設</td></tr> <tr><td>サービス付き高齢者向け住宅</td><td>1施設</td></tr> <tr><td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>夜間対応型訪問介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>認知症対応型通所介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>地域密着型通所介護</td><td>8施設</td></tr> <tr><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>看護小規模多機能型居宅介護</td><td>0施設</td></tr> <tr><td>認知症対応型共同生活介護</td><td>0施設</td></tr> </table> <p><地域拠点等> (2020年10月1日現在) <高齢者よろず相談センター> 「名称」ゆりのき 町内福祉村 1カ所 登録ボランティア数 104人</p>	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0施設	うち、地域密着型特別養護老人ホーム	0施設	介護老人保健施設	1施設	介護付き有料老人ホーム	1施設	住宅型有料老人ホーム	3施設	サービス付き高齢者向け住宅	1施設	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0施設	夜間対応型訪問介護	0施設	認知症対応型通所介護	0施設	地域密着型通所介護	8施設	小規模多機能型居宅介護	0施設	看護小規模多機能型居宅介護	0施設	認知症対応型共同生活介護	0施設
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0施設																										
うち、地域密着型特別養護老人ホーム	0施設																										
介護老人保健施設	1施設																										
介護付き有料老人ホーム	1施設																										
住宅型有料老人ホーム	3施設																										
サービス付き高齢者向け住宅	1施設																										
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0施設																										
夜間対応型訪問介護	0施設																										
認知症対応型通所介護	0施設																										
地域密着型通所介護	8施設																										
小規模多機能型居宅介護	0施設																										
看護小規模多機能型居宅介護	0施設																										
認知症対応型共同生活介護	0施設																										

地区の状況

【リスク状況(%)】(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より)

市全体より高い項目

	n=	運動器の機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	認知機能の低下	うつ傾向	左記のリスクなし
市全体	5007	23.3	32.9	22.4	2.6	26.7	42.3	41.4	19.7
圏域13 (崇善地区・松原地区)	352	25.9	33.8	17.6	2.6	28.4	47.4	41.2	19.6

【活動状況や将来の希望等(%)】(一般高齢者調査より)

市全体より高い項目

	n=	介護予防に取り組んでいる	地域で手助けをしたい	地域活動への参加意向あり	高齢者よろず相談センターの認知	外出は週に3日以上	将来は自宅での介護を希望	一人暮らし
市全体	778	53.1	37.7	27.2	22.0	68.4	41.3	13.9
圏域13 (崇善地区・松原地区)	65	47.7	35.4	21.5	10.8	72.3	43.1	15.4

圏域 13 (崇善地区・松原地区) では、特に「認知症機能の低下」が市全体と比べて高く、一方、「閉じこもり傾向」が市全体と比べて低くなっています。また、特に「高齢者よろず相談センターの認知」が市全体と比べて低くなっています。

小地域ケア会議の取組

閉じこもりや8050問題、防犯、防災の観点から地域のつながりを高める近所付き合いを強める取組として「あいさつ運動」を行っています。この運動を通じて小学校、企業、商店、自治会や地区社協などの団体、高齢者施設、介護事業所と連携がとれています。

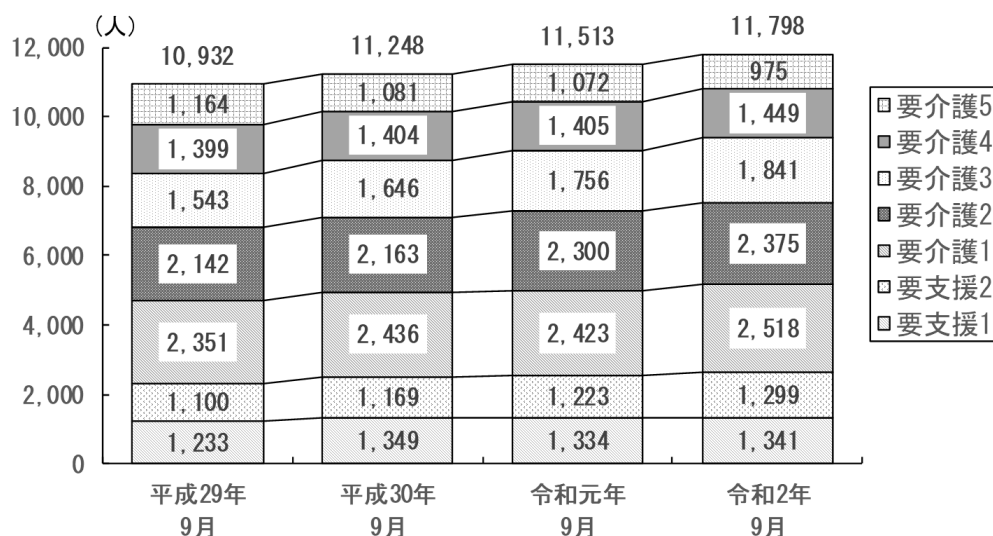
4 要介護認定者の状況

● 令和2年（2020年）9月末日現在の要介護者等数は11,798人です。また、第1号被保険者認定率は15.93%であり、前年の同時期よりも0.17ポイント上昇しています。

図表 2-17 要介護者等の状況（各年度9月末日現在）

	平成29年 9月	平成30年 9月	対前年比	令和元年 9月	対前年比	令和2年 9月	対前年比
要介護者数(総数)	10,932	11,248	102.9%	11,513	102.4%	11,798	102.5%
要支援1	1,233	1,349	109.4%	1,334	98.9%	1,341	100.5%
要支援2	1,100	1,169	106.3%	1,223	104.6%	1,299	106.2%
要介護1	2,351	2,436	103.6%	2,423	99.5%	2,518	103.9%
要介護2	2,142	2,163	101.0%	2,300	106.3%	2,375	103.3%
要介護3	1,543	1,646	106.7%	1,756	106.7%	1,841	104.8%
要介護4	1,399	1,404	100.4%	1,405	100.1%	1,449	103.1%
要介護5	1,164	1,081	92.9%	1,072	99.2%	975	91.0%
第1号被保険者認定者数	10,677	10,995	103.0%	11,251	102.3%	11,507	102.3%
要支援1	1,217	1,336	109.8%	1,313	98.3%	1,321	100.6%
要支援2	1,071	1,133	105.8%	1,183	104.4%	1,257	106.3%
要介護1	2,298	2,384	103.7%	2,379	99.8%	2,474	104.0%
要介護2	2,088	2,101	100.6%	2,232	106.2%	2,295	102.8%
要介護3	1,506	1,614	107.2%	1,718	106.4%	1,802	104.9%
要介護4	1,372	1,380	100.6%	1,380	100.0%	1,411	102.2%
要介護5	1,125	1,047	93.1%	1,046	99.9%	947	90.5%
第1号被保険者認定率	15.37%	15.60%		15.76%		15.93%	
要支援1	1.75%	1.90%		1.84%		1.83%	
要支援2	1.54%	1.61%		1.66%		1.74%	
要介護1	3.31%	3.38%		3.33%		3.43%	
要介護2	3.01%	2.98%		3.13%		3.18%	
要介護3	2.17%	2.29%		2.41%		2.49%	
要介護4	1.98%	1.96%		1.93%		1.95%	
要介護5	1.62%	1.49%		1.47%		1.31%	
第1号被保険者数	69,445	70,485		71,375		72,225	

図表 2-18 要介護者等の状況（各年度9月末日現在）



出典：介護保険事業状況報告

- 日常生活圏域別の要介護者等数は、圏域4（四之宮地区・八幡地区・真土地区）、圏域6（田村地区・横内地区・大神地区）、圏域8（金目地区・土沢地区）、圏域9（なでしこ地区・花水地区）で1,000人以上となっています。

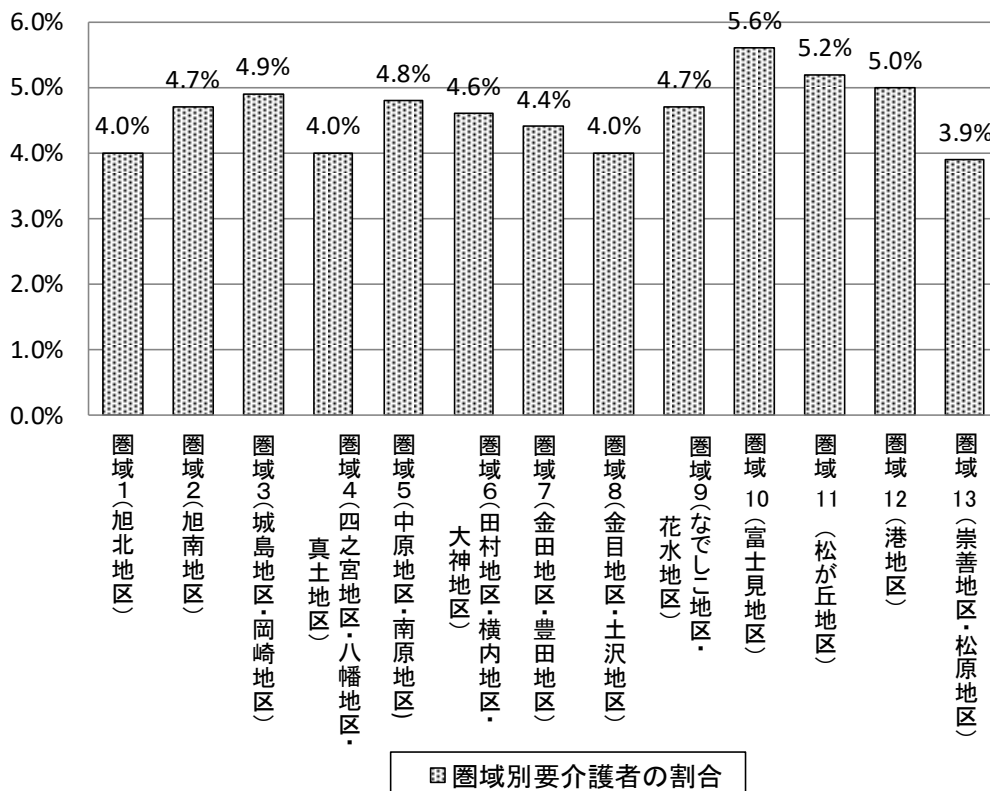
図表 2-19 日常生活圏域別に見た要介護者等数（令和2年（2020年）9月末日現在）

圏域	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	認定率
圏域1 旭北地区	99	89	184	187	132	117	62	870	13.9%
圏域2 旭南地区	110	88	174	175	127	98	75	847	14.4%
圏域3 城島地区・岡崎地区	77	64	143	128	104	85	61	662	14.3%
圏域4 四之宮地区・八幡地区・真土地区	119	144	258	265	219	113	113	1,231	16.6%
圏域5 中原地区・南原地区	104	102	202	157	144	118	57	884	17.5%
圏域6 田村地区・横内地区・大神地区	139	126	239	236	174	109	80	1,103	14.7%
圏域7 金田地区・豊田地区	76	63	105	158	119	106	58	685	15.2%
圏域8 金目地区・土沢地区	114	83	222	198	187	131	76	1,011	14.8%
圏域9 なでしこ地区・花水地区	168	143	271	232	164	152	95	1,225	18.3%
圏域10 富士見地区	115	123	187	170	124	96	70	885	18.7%
圏域11 松が丘地区	39	51	99	96	48	46	29	408	16.5%
圏域12 港地区	67	64	159	161	112	98	56	717	17.0%
圏域13 崇善地区・松原地区	98	131	210	185	138	128	99	989	15.7%
全認定者数(市外含む)	1,338	1,299	2,515	2,370	1,840	1,449	974	11,785	

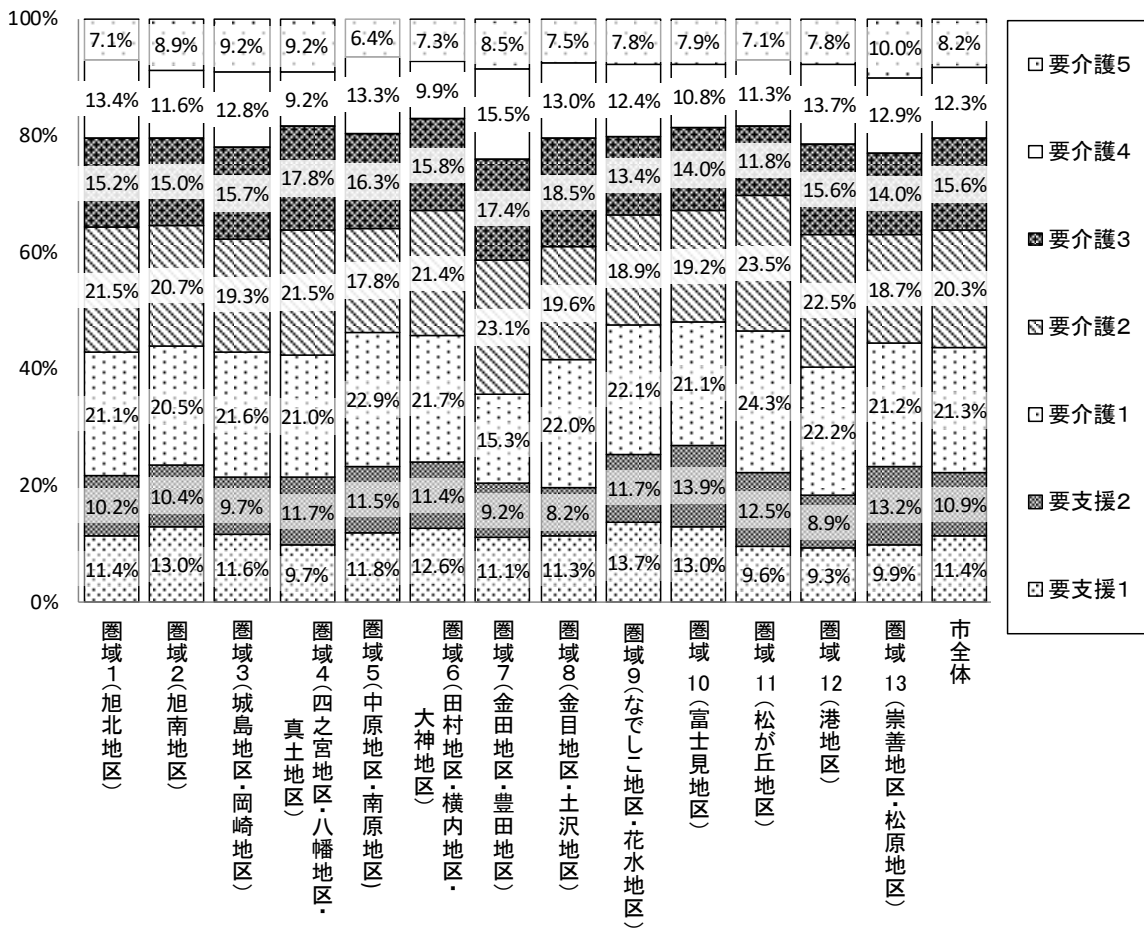
出典：平塚市介護保険課調べ（データ抽出時期が異なるため介護保険事業状況報告とは一致しない。）
全認定者数は介護保険事業状況報告（9月月報）

※ 認定率は、日常生活圏域別要介護者数を65歳以上高齢者数で除して求めた数値

図表 2-20 日常生活圏域別に見た要介護者等の対人口比
（令和2年（2020年）9月末日現在）



図表 2-21 日常生活圏域別に見た要介護者の割合（令和2年（2020年）9月末日現在）



※ 市外認定者含まず。

出典：平塚市介護保険課調べ（データ抽出時期が異なるため介護保険事業状況報告とは一致しない。）
全認定者数は介護保険事業状況報告（9月月報）

- 令和2年（2020年）9月末日現在の要介護者等について、寝たきり度（障害高齢者自立度）と認知症高齢者自立度を見ると、寝たきり軽度かつ認知症中重度の人は2,712人であり、要介護者全体（不明を除く）の23.0%となっています。
- 今後75歳以上の高齢者が増加していくにつれ、認知症の高齢者が増加することが予想されます。

図表 2-22 障害高齢者自立度と認知症高齢者自立度の分布（令和2年（2020年）9月末日現在）

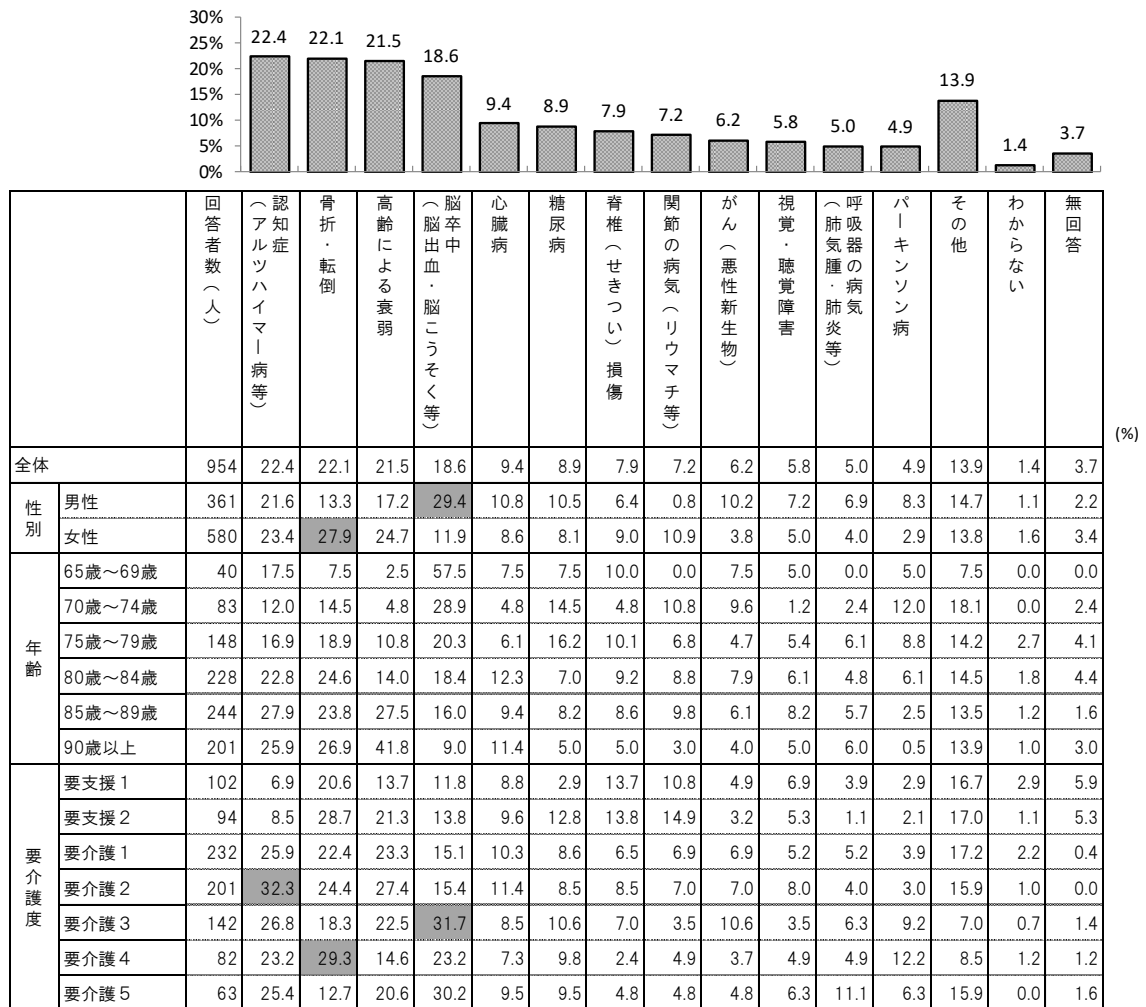
要介護度	認知症	寝たきり				総計
		自立	軽度	中重度	不明	
要支援1	自立	345	99	11	0	455
	軽度	427	201	14	1	643
	中重度	76	120	28	0	224
	不明	0	0	0	22	22
	小計	848	420	53	23	1,344
要支援2	自立	269	127	13	0	409
	軽度	330	301	41	0	672
	中重度	60	89	24	0	173
	不明	0	0	0	28	28
	小計	659	517	78	28	1,282
要介護1	自立	126	107	46	0	279
	軽度	167	328	103	1	599
	中重度	426	887	226	0	1,539
	不明	0	0	0	89	89
	小計	719	1,322	375	90	2,506
要介護2	自立	113	159	91	0	363
	軽度	123	348	172	0	643
	中重度	155	793	397	0	1,345
	不明	0	0	0	44	44
	小計	391	1,300	660	44	2,395
要介護3	自立	32	47	70	0	149
	軽度	17	100	168	0	285
	中重度	53	581	739	0	1,373
	不明	0	0	0	27	27
	小計	102	728	977	27	1,834
要介護4	自立	22	23	61	0	106
	軽度	5	35	127	0	167
	中重度	21	185	939	0	1,145
	不明	0	0	0	31	31
	小計	48	243	1,127	31	1,449
要介護5	自立	3	5	35	0	43
	軽度	1	8	57	0	66
	中重度	4	57	788	0	849
	不明	0	0	0	12	12
	小計	8	70	880	12	970
合 計	自立	910	567	327	0	1,804
	軽度	1,070	1,321	682	2	3,075
	中重度	795	2,712	3,141	0	6,648
	不明	0	0	0	253	253
	総計	2,775	4,600	4,150	255	11,780

※ 認知症軽度 : 認知症高齢者自立度「I」
 認知症中重度 : 認知症高齢者自立度「II a」～「M」
 寝たきり軽度 : 障害高齢者自立度「A1」～「A2」
 寝たきり中重度 : 障害高齢者自立度「B1」～「C2」

出典：平塚市介護保険課調べ（データ抽出時期が異なるため介護保険事業状況報告とは一致しない。）

- 要介護等認定者の介護が必要となった原因について、高齢者等実態調査では、「認知症（アルツハイマー病等）」が22.4%と最も高くなっています。次いで、「骨折・転倒」が22.1%、「高齢による衰弱」が21.5%、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」が18.6%の順となっています。
- 性別でみると、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」、「がん（悪性新生物）」「パーキンソン病」は男性が多く、「骨折・転倒」、「高齢による衰弱」、「関節の病気（リウマチ等）」などは女性に多く見られます。
- 年齢別でみると、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」は年齢が高くなるにつれ少なく、「高齢による衰弱」は年齢が高くなるにつれて多くなっています。
- 要介護度別でみると、「脊椎損傷」「関節の病気（リウマチ等）」は要支援1・2で高く、「認知症（アルツハイマー病等）」は要介護1以上で2～3割と高く、「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」は要介護3以上で2～3割と高くなっています。

図表 2-23 介護が必要となった原因（要介護等認定者（居宅）、n=954）



図表 2-24 要介護者のサービス利用状況（各年9月末日現在）

		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人	%	人	%	人	%	人	%
要支援・要介護者数	合計	10,932		11,248		11,513		11,785	
	要支援	2,333	21.3%	2,518	22.4%	2,557	22.2%	2,637	22.4%
	要支援1	1,233	11.3%	1,349	12.0%	1,334	11.6%	1,338	11.4%
	要支援2	1,100	10.1%	1,169	10.4%	1,223	10.6%	1,299	11.0%
	要介護	8,599	78.7%	8,730	77.6%	8,956	77.8%	9,148	77.6%
	要介護1	2,351	21.5%	2,436	21.7%	2,423	21.0%	2,515	21.3%
	要介護2	2,142	19.6%	2,163	19.2%	2,300	20.0%	2,370	20.1%
	要介護3	1,543	14.1%	1,646	14.6%	1,756	15.3%	1,840	15.6%
	要介護4	1,399	12.8%	1,404	12.5%	1,405	12.2%	1,449	12.3%
要介護5	1,164	10.6%	1,081	9.6%	1,072	9.3%	974	8.3%	
居宅サービス利用者	合計	6,399	58.5%	6,477	57.6%	6,804	59.1%	7,027	59.6%
	要支援	829	7.6%	812	7.2%	903	7.8%	1,042	8.8%
	要支援1	332	3.0%	351	3.1%	393	3.4%	418	3.5%
	要支援2	497	4.5%	461	4.1%	510	4.4%	624	5.3%
	要介護	5,570	51.0%	5,665	50.4%	5,901	51.3%	5,985	50.8%
	要介護1	1,715	15.7%	1,762	15.7%	1,807	15.7%	1,822	15.5%
	要介護2	1,684	15.4%	1,737	15.4%	1,809	15.7%	1,860	15.8%
	要介護3	935	8.6%	975	8.7%	1,077	9.4%	1,084	9.2%
	要介護4	725	6.6%	679	6.0%	674	5.9%	707	6.0%
要介護5	511	4.7%	512	4.6%	534	4.6%	512	4.3%	
地域密着型サービス利用者	合計	1,916	17.5%	1,893	16.8%	2,133	18.5%	2,088	17.7%
	要支援者	11	0.1%	8	0.1%	17	0.1%	15	0.1%
	要支援1	5	0.0%	4	0.0%	12	0.1%	7	0.1%
	要支援2	6	0.1%	4	0.0%	5	0.0%	8	0.1%
	要介護者	1,905	17.4%	1,885	16.8%	2,116	18.4%	2,073	17.6%
	要介護1	595	5.4%	605	5.4%	706	6.1%	657	5.6%
	要介護2	577	5.3%	554	4.9%	643	5.6%	667	5.7%
	要介護3	361	3.3%	359	3.2%	397	3.4%	406	3.4%
	要介護4	222	2.0%	223	2.0%	215	1.9%	218	1.8%
要介護5	150	1.4%	144	1.3%	155	1.3%	125	1.1%	
施設サービス利用者	合計	1,359	12.4%	1,469	13.1%	1,536	13.3%	1,528	13.0%
	要介護1	75	0.7%	79	0.7%	83	0.7%	88	0.7%
	要介護2	130	1.2%	136	1.2%	167	1.5%	160	1.4%
	要介護3	360	3.3%	403	3.6%	443	3.8%	459	3.9%
	要介護4	436	4.0%	495	4.4%	512	4.4%	515	4.4%
	要介護5	358	3.3%	356	3.2%	331	2.9%	306	2.6%

※ 端数処理の都合上、合計と内訳が一致しない場合がある。

※ 施設サービス利用者：介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院の各サービス利用者の合計

※ 地域密着型サービス利用者：地域密着型各サービス利用者の合計

※ 居宅サービス利用者：居宅サービス（訪問介護、通所サービス、短期入所サービス、福祉用具貸与等のサービス（介護予防支援・居宅介護支援の利用者で代替））・特定施設入居者生活介護の利用者の合計

※ 居宅サービスと地域密着型サービスの両方を利用している場合は、それぞれのサービスの人数に含まれている。

出典：介護保険事業状況報告

- 平成29年度から令和元年度までの介護保険の事業量・事業費の実績（対計画値）は以下の表のとおりです。
- 介護予防サービスについては、介護予防訪問看護、介護予防居宅療養管理指導は、計画値より実績値が大きく上回っています。

図表 2-25 介護保険の事業量・事業費の実績（対計画値）（続く）

	平成29年度 (第6期参考)	平成30年度			令和元年度		
	実績値	計画値	実績値	対計画値割合	計画値	実績値	対計画値割合
(1) 被保険者数(9月末)							
65歳以上75歳未満	37,083	36,826	36,531	99.2%	36,598	35,828	97.9%
75歳以上	32,362	34,906	33,954	97.3%	36,469	35,547	97.5%
合計	69,445	71,732	70,485	98.3%	73,067	71,375	97.7%
(2) 要介護認定者数(9月末)							
要支援1	1,233	1,371	1,349	98.4%	1,426	1,334	93.6%
要支援2	1,100	1,218	1,169	96.0%	1,265	1,223	96.7%
要介護1	2,351	2,349	2,436	103.7%	2,450	2,423	98.9%
要介護2	2,142	2,273	2,163	95.2%	2,370	2,300	97.1%
要介護3	1,543	1,649	1,646	99.8%	1,723	1,756	101.9%
要介護4	1,399	1,542	1,404	91.1%	1,606	1,405	87.5%
要介護5	1,164	1,274	1,081	84.9%	1,318	1,072	81.3%
合計	10,932	11,676	11,248	96.3%	12,158	11,513	94.7%
(3) 介護予防サービス							
① 介護予防訪問入浴介護							
実人数(月平均)	0	0	0	-	0	1	-
延べ回数(月平均)	0	0	1	-	0	5	-
② 介護予防訪問看護							
実人数(月平均)	70	59	81	137.3%	61	92	150.8%
延べ回数(月平均)	355	273	450	164.8%	282	444	157.4%
③ 介護予防訪問リハビリテーション							
実人数(月平均)	24	28	21	75.0%	30	26	86.7%
延べ回数(月平均)	265	314	247	78.7%	338	266	78.7%
④ 介護予防居宅療養管理指導							
実人数(月平均)	81	69	93	134.8%	75	94	125.3%
⑤ 介護予防通所リハビリテーション							
実人数(月平均)	97	121	95	78.5%	132	119	90.2%
⑥ 介護予防短期入所生活介護							
実人数(月平均)	18	14	18	128.6%	17	13	76.5%
延べ日数(月平均)	75	54	76	140.7%	66	48	72.7%
⑦ 介護予防短期入所療養介護							
実人数(月平均)	1	0	1	-	0	0	-
延べ日数(月平均)	4	0	3	-	0	0	-
⑧ 介護予防福祉用具貸与							
実人数(月平均)	614	603	680	112.8%	653	737	112.9%
⑨ 特定介護予防福祉用具販売							
件数(月平均)	14	11	15	136.4%	11	15	136.4%
⑩ 介護予防住宅改修							
件数(月平均)	18	22	17	77.3%	23	22	95.7%
⑪ 介護予防特定施設入居者生活介護							
実人数(月平均)	73	64	77	120.3%	64	79	123.4%
⑫ 介護予防支援							
実人数(月平均)	752	1,168	816	69.9%	1,266	879	69.4%
介護予防居宅サービス保険給付費合計(年間、千円)	247,638	266,806	263,676	98.8%	283,640	284,430	100.3%

※ 被保険者数及び要介護認定者数の計画値合計は整数で足し上げているため、計画値の総数と一致しない場合がある。

出典:介護保険事業状況報告

- ほぼ計画値どおりのものは、訪問介護、訪問看護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、福祉用具貸与、特定施設入居者生活介護となっています。
- 計画値より実績が上回っているものは、訪問看護、居宅療養管理指導、通所介護となっています。

図表 2-26 介護保険の事業量・事業費の実績（対計画値）（続き）

	平成29年度 (第6期参考)	平成30年度			令和元年度		
	実績値	計画値	実績値	対計画値割合	計画値	実績値	対計画値割合
(4) 地域密着型介護予防サービス							
① 介護予防認知症対応型通所介護							
実人数（月平均）	0	0	0	-	0	0	-
延べ回数（月平均）	1	0	0	-	0	0	-
② 介護予防小規模多機能型居宅介護							
実人数（月平均）	11	18	10	55.6%	19	14	73.7%
③ 介護予防認知症対応型共同生活介護							
実人数（月平均）	2	0	0	-	0	0	-
地域密着型介護予防サービス保険給付費合計（年間、千円）	12,736	13,333	8,536	64.0%	14,730	10,798	73.3%
(5) 居宅サービス							
① 訪問介護							
実人数（月平均）	1,701	1,741	1,721	98.9%	1,888	1,804	95.6%
延べ回数（月平均）	45,347	45,769	45,071	98.5%	50,383	48,758	96.8%
② 訪問入浴介護							
実人数（月平均）	184	205	181	88.3%	204	175	85.8%
延べ回数（月平均）	909	1,017	895	88.0%	1,012	895	88.4%
③ 訪問看護							
実人数（月平均）	921	967	989	102.3%	1,056	1,079	102.2%
延べ回数（月平均）	6,233	6,577	6,684	101.6%	7,134	6,924	97.1%
④ 訪問リハビリテーション							
実人数（月平均）	231	221	237	107.2%	243	248	102.1%
延べ回数（月平均）	3,045	2,969	2,912	98.1%	3,270	2,995	91.6%
⑤ 居宅療養管理指導							
実人数（月平均）	1,615	1,558	1,688	108.3%	1,683	1,882	111.8%
⑥ 通所介護							
実人数（月平均）	1,847	1,871	1,938	103.6%	1,948	1,920	98.6%
延べ回数（月平均）	17,755	17,954	19,028	106.0%	18,668	19,247	103.1%
⑦ 通所リハビリテーション							
実人数（月平均）	450	480	455	94.8%	499	477	95.6%
延べ回数（月平均）	3,336	3,616	3,394	93.9%	3,775	3,534	93.6%
⑧ 短期入所生活介護							
実人数（月平均）	593	623	622	99.8%	684	637	93.1%
延べ日数（月平均）	5,675	5,841	5,848	100.1%	6,486	6,428	99.1%
⑨ 短期入所療養介護							
実人数（月平均）	39	52	35	67.3%	55	33	60.0%
延べ日数（月平均）	248	334	210	62.9%	361	242	67.0%
⑩ 福祉用具貸与							
実人数（月平均）	3,443	3,521	3,486	99.0%	3,784	3,723	98.4%
⑪ 特定福祉用具販売							
件数（月平均）	58	60	59	98.3%	64	59	92.2%
⑫ 住宅改修							
件数（月平均）	47	58	41	70.7%	71	42	59.2%
⑬ 特定施設入居者生活介護（介護専用型、混合型）							
実人数（月平均）	515	547	538	98.4%	547	542	99.1%
⑭ 居宅介護支援							
実人数（月平均）	4,986	5,347	5,080	95.0%	5,711	5,277	92.4%
居宅サービス保険給付費合計（年間、千円）	7,879,619	8,280,181	8,099,816	97.8%	8,805,020	8,544,018	97.0%

出典：介護保険事業状況報告

- 介護老人福祉施設、介護老人保健施設は、ほぼ計画値どおりの実績となっています。介護療養型医療施設は、介護医療院への転換の影響がみられます。
- 保険給付費合計をみると、平成30年度、令和元年度ともに対計画割合が95%前後となっており、おおむね計画どおりであることがうかがえます。

図表 2-27 介護保険の事業量・事業費の実績（対計画値）（続き）

	平成29年度 (第6期参考)	平成30年度			令和元年度		
	実績値	計画値	実績値	対計画値割合	計画値	実績値	対計画値割合
(6) 地域密着型サービス							
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護							
実人数（月平均）	12	26	13	50.0%	41	20	48.8%
② 夜間対応型訪問介護							
実人数（月平均）	16	22	9	40.9%	22	8	36.4%
③ 地域密着型通所介護							
実人数（月平均）	1,292	1,376	1,274	92.6%	1,469	1,419	96.6%
延べ回数（月平均）	11,697	12,875	11,527	89.5%	12,822	12,735	99.3%
④ 認知症対応型通所介護							
実人数（月平均）	36	38	43	113.2%	42	40	95.2%
延べ回数（月平均）	383	421	452	107.4%	449	449	100.0%
⑤ 小規模多機能型居宅介護							
実人数（月平均）	154	174	161	92.5%	181	168	92.8%
⑥ 認知症対応型共同生活介護							
実人数（月平均）	261	275	273	99.3%	304	298	98.0%
⑦ 地域密着型特定施設入居者生活介護							
実人数（月平均）	40	40	41	102.5%	40	43	107.5%
⑧ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護							
実人数（月平均）	50	52	50	96.2%	53	51	96.2%
⑨ 看護小規模多機能型居宅介護							
実人数（月平均）	19	47	27	57.4%	54	36	66.7%
地域密着型サービス保険給付費合計（年間、千円）	2,651,841	2,170,806	2,710,233	124.8%	2,349,740	2,961,750	126.0%
(7) 介護保険施設サービス							
① 介護老人福祉施設							
実人数（月平均）	906	974	1,010	103.7%	1,014	1,021	100.7%
② 介護老人保健施設							
実人数（月平均）	431	456	442	96.9%	519	490	94.4%
③ 介護療養型医療施設							
実人数（月平均）	26	17	14	82.4%	14	9	64.3%
④ 介護医療院							
実人数（月平均）	0	31	0	0.0%	41	9	22.0%
介護保険施設サービス保険給付費合計（年間、千円）	4,307,892	4,858,737	4,643,377	95.6%	5,222,564	4,937,444	94.5%
○介護給付等保険給付費総計（年間、千円）	15,099,727	17,400,855	15,725,638	90.4%	18,854,658	16,738,440	88.8%
介護サービス等諸費	14,839,353	16,435,125	15,453,427	94.0%	17,815,094	16,443,212	92.3%
居宅介護サービス費	10,371,559	11,123,215	10,646,040	95.7%	11,912,306	11,344,802	95.2%
施設サービス費	4,467,794	5,045,512	4,807,387	95.3%	5,414,871	5,098,410	94.2%
介護予防サービス諸費	260,374	280,139	272,211	97.2%	298,370	295,228	98.9%
○その他費用（年間、千円）	863,319	965,730	929,450	96.2%	1,039,564	1,029,300	99.0%
特定入所者介護サービス費	443,226	504,428	466,720	92.5%	543,573	494,765	91.0%
高額介護サービス等費	408,583	399,527	450,745	112.8%	428,108	519,688	121.4%
審査支払手数料	11,510	9,482	11,985	126.4%	11,850	14,847	125.3%
保険給付費合計（年間、千円）	15,963,046	17,400,855	16,655,089	95.7%	18,854,658	17,767,740	94.2%
地域支援事業費総計（年間、千円）	835,143	1,026,986	867,655	84.5%	1,074,335	895,460	83.4%
介護予防・日常生活支援総合事業	400,896	431,835	419,740	97.2%	450,980	440,587	97.7%
包括的支援事業・任意事業	434,247	595,151	447,915	75.3%	623,355	454,873	73.0%

※ 端数処理の都合上、合計と内訳が一致しない場合がある。

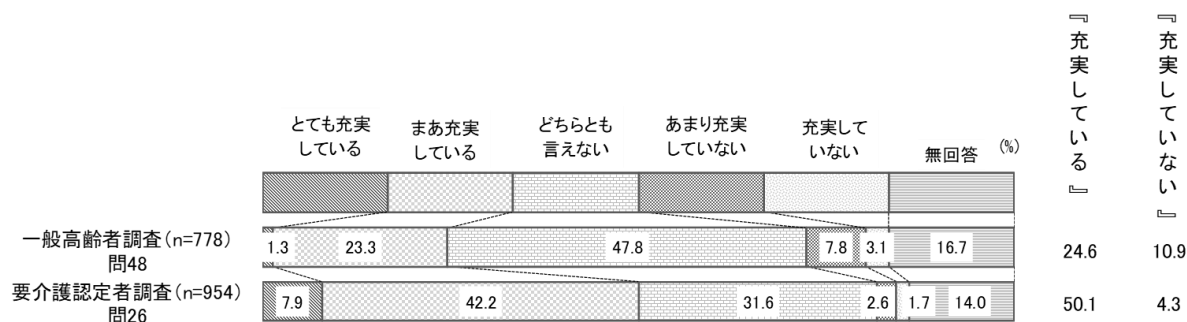
出典：介護保険事業状況報告

5 高齢者福祉施策に対する市民の意識

(1) 高齢者等実態調査による高齢者福祉施策に対する市民の意識

介護保険制度・高齢者福祉施策の充実度については、「とても充実している」「まあ充実している」を合わせた『充実している』は、一般高齢者では24.6%、要介護認定者では50.1%と、要介護認定者では半数が充実していると評価しています。

図表 2-28 高齢者福祉施策に対する満足度



出典: 高齢者等実態調査

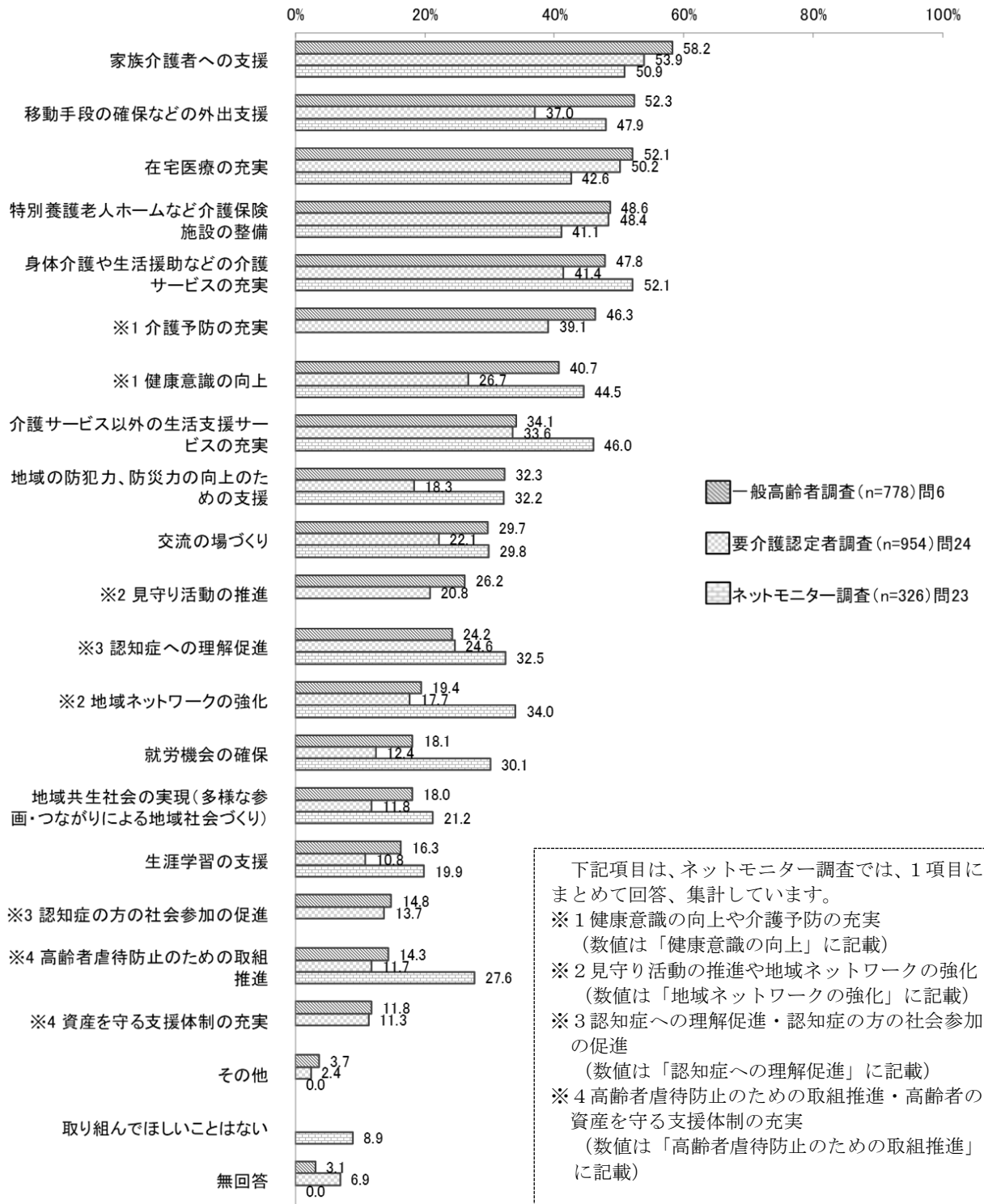
人生100年時代を迎えるにあたって、今後、市が重点的に取り組むべきこととしては、一般高齢者、要介護認定者ともに「家族介護者への支援」が最も多くなっています。また、中高年世代（ネットモニター調査）（以下、「中高年世代」といいます。）では、「身体介護や生活援助などの介護サービスの充実」が最も多くなっています。

次いで、一般高齢者では「移動手段の確保などの外出支援」「在宅医療の充実」、要介護認定者では「在宅医療の充実」、中高年世代では「家族介護者への支援」があげられています。

このように、高齢者層と中高年世代とで共通して、在宅医療・在宅介護体制の充実や家族介護者への支援など、在宅で暮らし続けるための必要な支援に重点的に取り組むべきとする回答が多くなっています。

(次ページ図表 2-29 参照)

図表 2-29 今後、平塚市において充実を希望すること



出典: 高齢者等実態調査

※ ネットモニター調査では、「地域の防犯力、防災力の向上のための支援」を「地域の防犯・防災」で聴取

※ 「取り組んでほしいことはない」は、一般高齢者調査、要介護認定者調査では、調査なしのため 0.0 非表示

6 第7期計画の取組

第7期計画において、特に重点的に取り組むべきこととした重点施策とその取組は、次のとおりです。

(1) 第7期計画の重点施策

重点施策1 健康増進と介護予防の充実

フレイル対策推進事業として、栄養、運動、社会参加をテーマに、フレイル専用サイトの開設、フレイルチェック測定会（状態の見える化）やフレイル改善教室の実施、フレイルサポーターの育成などに取り組みました。また、外出の促進として、地域における通いの場の開催支援にも取り組みました。

今後も健康増進と介護予防の充実を図り、健康長寿の実現を目指します。

重点施策2 認知症総合施策の推進

認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームが連携して認知症の早期発見・早期診断及び早期対応と家族支援に取り組みました。

地域で認知機能検査を実施し、認知機能低下のおそれがある方をフォロー講座等につなぎました。継続して検査を行い、各事業を活用して適切な支援につなげる必要があります。また、フォロー講座後も地域で継続して社会参加できる場を充実していく事が望まれます。

認知症の人の思いを伝えられる機会を設ける必要もあります。

重点施策3 介護保険サービスの円滑な実施のための人材確保

介護人材の確保・定着に向け、人材募集情報や事業所で働くスタッフの声などを盛り込んだガイドブックを作成し、市内の介護事業所を広く紹介するとともに、「事業所見学会・就職相談会」を実施し、就職希望者と介護事業所のマッチングを行いました。また、事業所でいきいきと働く職員を市ホームページ等に紹介することで、介護職のイメージアップと定着促進を行いました。

さらに、「介護職員初任者研修受講促進事業」や「介護職員等宿舎借上げ支援事業」により、介護人材の確保、定着に向けた支援を行いました。

(2) 第7期計画の基本目標

第7期計画では4つの基本目標のもと、さまざまな施策を展開しました。

<基本目標>	<具体的な取組>
1 健康で生きがいに満ちた暮らし	1-1 生活支援の充実・健康長寿へのチャレンジ 1-2 生涯現役社会による生きがいつくりの推進
2 住み慣れた地域で安心のある生活	2-1 地域ネットワークの充実 2-2 在宅医療の充実及び医療・介護連携の推進 2-3 認知症支援策の推進 2-4 高齢者生活支援体制の構築 2-5 高齢者居住安定確保の推進
3 いのちと権利を見守る地域社会	3-1 孤独死の防止に向けた取組の充実 3-2 権利擁護事業の充実 3-3 避難行動要支援者対策の推進
4 人に寄り添う介護サービス	4-1 介護サービス等の充実 4-2 介護保険事業の円滑な実施

(3) 具体的な取組と内容

(基本目標1-1) 生活支援の充実・健康長寿へのチャレンジ

(1) 「新しい総合事業の充実」についての取組
要支援者等に対して、介護予防に資する支援を提供することができました。特に訪問型サービスについては、従前のサービスから多様なサービスの利用を促進することで、状態に応じた適切なサービスを提供することができました。また、高齢者に関する「生活支援・介護予防サービスに関する協議体」の設置を通して、地域の住民同士の支え合い体制づくりを推進しました。
(2) 「地域で取り組む健康長寿へのチャレンジ」についての取組
概ね65歳以上の方を対象に、健康教室の開催や地域住民が介護予防に取り組むことができる通いの場に対する開催支援を実施しました。また、フレイル対策推進事業として、フレイルチェック測定会やフレイル改善教室、フレイルサポーターの養成など各種取組を実施しました。

(基本目標1-2) 生涯現役社会による生きがいづくりの推進

(1) 「ゆめクラブへの支援」についての取組
会員数及びクラブ数が減少傾向にあることから、維持・増加に向けた取組の検討を目的とした、老人クラブ連合会会長を中心とする加入促進委員会の設置に向けて支援を行いました。
(2) 「個人の状況に合わせた多様な働き方への支援」についての取組
自主自立を目指した運営の実現に向け、生きがい事業団が経営改革に係る構想を策定するにあたり、助言などの支援を行いました。また、高齢者の多様な就労活動の機会を創出するため、ハローワーク及び生きがい事業団と連携しながら高齢者の就労支援の方向性及び取組について検討を進め、シニア向け就労支援セミナーを開催しました。

(基本目標2-1) 地域ネットワークの充実

(1) 「高齢者よろず相談センターの機能強化」についての取組
地域のケアマネジャーとの連携強化や資質の向上のための研修を支援しました。また、包括支援センターの職員が相談及び支援をする上で必要な知識を学ぶ研修を開催しました。 認知症地域支援推進員が常駐し、認知症相談窓口として対応しました。
(2) 「地域ネットワークの充実」についての取組
地域住民が地区の課題を把握し、各種団体等と連携して自主的に解決を図るための地域ケア会議を、高齢者よろず相談センターの主催で行いました。また、平塚市全域に関する地域ケア推進会議を市主催にて平塚市地域包括支援センター運営協議会の中で開催しました。

(基本目標2-2) 在宅医療の充実及び医療・介護連携の推進

(1) 「在宅医療の充実」についての取組
在宅医療・介護連携の課題の抽出及びその対応策の検討や切れ目のない在宅医療及び介護の提供体制の構築・推進のため、必要な事項について審議しました。
(2) 「医療・介護連携の推進」についての取組
「ひらつか安心ファイル」の活用のほか、「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」及び「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を作成しました。多職種及び職種間連携を図るため研修会や医療・介護・福祉関係者によるシンポジウム、展示会を開催し、地域住民への普及啓発を行いました。また、高齢福祉施設と消防との連携を推進するため「救急連絡シート」を作成しました。

(基本目標2-3) 認知症支援策の推進

(1) 「認知症理解のための普及・啓発」についての取組
市民に向け、パネル展、講演会、ライトアップ、シンポジウム等を開催し、また、街頭キャンペーン等により、認知症の知識の普及に努めました。そのほか、専門職や学生、児童を対象に、認知症サポーターの養成を行いました。 さらに、VR認知症体験会では、認知症の症状を『自分ごと』として体験することで認知症の人への新たな‘寄り添い方’を見つける機会となりました。
(2) 「認知症予防施策の充実」についての取組
認知症地域支援推進員を中心に、各高齢者よろず相談センターで認知症予防教室を開催しました。また、認知症予防のための脳とからだの体操を取り入れた講座でリーダーを養成するなど、地域で継続して活動していけるような取組を行いました。
(3) 「認知症に対する早期対応体制の整備」についての取組
認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームが連携して、早期診断及び早期対応につなげ、家族支援に取り組みました。また、認知症地域支援推進員を中心に若年性認知症を含む認知症の相談支援において認知症ケアパス等を活用するとともに、認知症簡易チェックシステムの周知を行いました。
(4) 「認知症高齢者の見守り」についての取組
認知症サポーターを対象に、地域ボランティアとして活躍していただく方のための認知症ステップアップ講座を実施し、認知症の方やその家族、地域の方、専門職と、誰もが参加し、集える認知症カフェの設置に努め、市ホームページ等で周知しました。また、認知症等により行方がわからなくなってしまった高齢者について、より広範囲での速やかな検索が可能となるように神奈川県警本部への登録者の情報提供を始めました。

(基本目標2-4) 高齢者生活支援体制の構築

(1) 「生活の安心確保」についての取組

高齢者に対するサービスの多くは介護保険事業及び総合事業に統合されている中で、市単独事業として高齢者の見守りに関する事業や生活を支援する事業を実施しました。

見守りに関する事業のひとつ「お話し見守り歩数計（ひらつかミルック）事業」では、日中独居高齢者への対象者拡大により、親族等の安心につなげ、介護負担の軽減に努めました。

(2) 「要介護者及び家族介護者への支援」についての取組

要介護者又は在宅で介護している家族の身体的、精神的及び経済的負担を軽減するため、要介護者向けに訪問理容・美容サービスや紙おむつ等の介護用品の支給などを実施したほか、介護する家族等を対象に介護技術の習得だけでなくリフレッシュも目的とした教室を開催しました。

(基本目標2-5) 高齢者居住安定確保の推進

(1) 「良質な高齢者向け住まいの供給促進」についての取組

特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅など、多様な施設や住まいの円滑な整備に向けて事業者への支援を行いました。

(2) 「高齢者が円滑に入居できる体制づくり」についての取組

高齢者の様々なニーズに応じた住まいの情報を提供できるよう、(公財) かながわ住まい・まちづくり協会と連携して住まい探し相談会を開催しました。

(基本目標3-1) 孤独死の防止に向けた取組の充実

(1) 「見守り活動の推進」についての取組

「孤独死」を防止するため、ひとり暮らし調査を通じた民生委員等による地域における見守り、見守り協定に基づく市内企業による見守り及び市単独事業による機器等による見守りなど、重層的な見守り体制の推進を図りました。また、終末期に向けた活動支援については、関係機関と支援の課題及び方法等について検討し、平塚市版のエンディングノートを作成しました。

(基本目標3-2) 権利擁護事業の充実

(1) 「日常生活を支える権利擁護事業の推進」についての取組

成年後見制度の普及に向け、財産管理委任契約や任意後見制度についての講演会を開催したほか、成年後見利用支援センターを拠点に、相談支援や出張講座を実施しました。

(2) 「高齢者虐待防止のための取組」についての取組

高齢者虐待については、地域での早期発見・早期対応が重要であることから、地域の支援者を対象とした講演会の開催や、地域で虐待に気づく視点を養えるよう民生委員に対して講義を行い、普及啓発を図りました。また、虐待防止ネットワーク協議会を開催し、支援者同士がネットワークを形成しながら支援を行いました。

(基本目標3-3) 避難行動要支援者対策の推進

(1) 「避難行動要支援者対策」についての取組

「平塚市避難行動要支援者避難支援指針」を策定し、「避難行動要支援者登録制度」から「避難行動要支援者支援制度」と改め、制度の推進を図りました。また、発災時に福祉避難所を確実に開設できるよう、各施設との間で協定締結に向けた準備を進めました。

(基本目標4-1) 介護サービス等の充実

(1)「介護サービスの提供」についての取組
高齢者が要介護状態になっても安心して暮らせるよう、居宅介護支援事業所等と連携し、適切な介護サービスの提供に努めました。
(2)「介護予防サービスの提供」についての取組
要支援認定を受けた高齢者の生活機能の維持・向上を図るため、高齢者よろず相談センター等と連携し、適切な介護予防サービスの提供に努めました。
(3)「介護サービス基盤の整備」についての取組
多様なサービスを柔軟に利用できるよう、居宅サービス、施設サービス及び地域密着型サービスの基盤整備を進めました。

(基本目標4-2) 介護保険事業の円滑な実施

(1)「情報提供の充実」についての取組
制度改正に対応したガイドブックを作成し、要介護認定申請時や公民館、高齢者よろず相談センター等で配布するとともに、広報紙やホームページ等の様々な媒体を利用し、制度の周知を行いました。また、市内のサービス事業所一覧を毎月更新し、窓口で配布するほか、ホームページに掲載し、介護事業者に関する情報提供を行いました。
(2)「サービスの質の向上」についての取組
ケアプラン点検を定期的に行い、医療突合と縦覧点検による通知を年に複数回通知するなど、サービスの適正化を図りました。 市の指定である地域密着型サービス事業所と居宅介護支援事業所に実地指導をするとともに、介護施設等に介護相談員を派遣し、施設等とサービス利用者の橋渡しを行い、介護サービスの質の向上への取組を行いました。
(3)「介護人材の確保及びスキルアップ」についての取組
介護人材の確保に向け、人材募集情報や事業所で働くスタッフの声を盛り込んだガイドブックを作成し、市内の介護事業所を広く紹介するとともに、「事業所見学会・就職相談会」を実施し、就職希望者と介護事業所のマッチングを行いました。また、「介護職員初任者研修受講促進事業」等により職員のスキルアップを促進しました。
(4)「要介護認定に関する取組」についての取組
認定調査を公平・公正かつ適正に実施するため、認定調査員の質の向上及び認定調査票の点検を行い認定の適正化を図りました。また、認定審査会委員に対し研修等を実施し、審査判定の適正化を図りました。